ときわ公園
活性化基本計画 改定

憩い×観光

～日本一の自然体感テーマパーク～

宇部市

平成２８年２月

憩いの場として
観光施設として
ワンランク上のステージへ

約320年前に先人たちの英知を結集して灌漑用に造られた常盤湖を中心に、緑豊かで広大な敷地を誇るときわ公園。私たちにとっては何気ない風景ですが、園内をゆっくり散策すると、四季折々の花やさまざまな野外彫刻に出会え、宇部発展の礎である石炭産業を語る石炭記念館、生息地そのままを再現する動物園や植物館を楽しめるなど、これほどに自然や文化、芸術、歴史を一度に体感でき、すぐそばには空の玄関となる空港がある都市公園が他にあるでしょうか。

本市は、“炭鉱のまち”から“緑と花と彫刻によるまち”づくりに取り組んできたドラマとその先人たちの熱い思いとともに、この素晴らしい地域資源にさらに磨きをかけ、貴重な財産として次世代につないでいくため、平成22年5月に『常盤公園活性化基本計画』を策定し、さまざまな施策に取り組んできました。その結果、年間37万人まで落ち込んでいた入園者数は、平成26年度には動物園のリニューアルオープン効果もあり、50万人を超えるまでに回復しました。

今回の基本計画改定では、さらなる市民の憩いの場の充実として、自然を楽しみながらの健康づくり、また動物や植物を通した自然環境の学びの場など多面的に展開します。
そして、いよいよ平成28年3月にグランドオープンする動物園や平成29年春にリニューアルする熱帯植物館は、県内はもとより広域から誘客できる魅力的な観光施設に大きく生まれ変わります。

平成27年12月に策定した「宇部市観光戦略アクションプラン」では“ときわ公園を核とした観光戦略”を掲げており、今後はイベントやスタディツアーなどのソフト事業、情報発信やおもてなしの強化などに積極的に取り組み、入園者増を図りながら安定した財源を確保し、持続可能な公園づくりに努めてまいります。

この公園の魅力アップが、本市のブランド力向上や若者世代のふるさとへの愛着心を育み、定住促進や地域経済の活性化につながるものと確信しています。

ときわ公園は、今まさにワンランク上のステージのスタートラインに立ったところです。ぜひ、オール宇部市で、日本一の“自然体感テーマパーク”に進化させていきましょう。

平成28年2月

宇部市長　久保田右子

ときわ公園活性化基本計画［改定］

目　次 *contents*

第Ⅰ章　活性化基本計画の改定にあたって

計画改定の目的 …… 1

第Ⅱ章　ときわ公園の概況

1 沿　革 …… 2
2 概　況 …… 4
(1) 施設と資源 …… 4
(2) 年間入園者数の推移と動向 …… 5

第Ⅲ章　基本方針と基本計画

1 基本方針 …… 6
(1) 将来像 …… 6
(2) 目　標 …… 7
2 基本計画の概要 …… 8
(1) エリア区分図 …… 8
(2) 基本計画の施策体系 …… 9
(3) 活性化の考え方 …… 9
3 施設・資源別計画 …… 10
■ ときわ動物園 …… 10
■ ときわ遊園地 …… 12
Action Plan 動物園・遊園地エリア …… 14
■ 彫刻・UBE ビエンナーレ …… 16
Action Plan 彫刻・UBE ビエンナーレ …… 18
■ ときわミュージアム …… 20
Action Plan ときわミュージアムリニューアル計画 …… 22
■ 石炭記念館 …… 24
■ 花木・花いっぱい運動記念ガーデン …… 26

■ 常盤湖・周遊園路・北部施設・里山 …… 28
■ その他の施設 …… 30
Action Plan 緑と花と彫刻のブレスレット構想［ときわ公園 緑と花の計画］…… 32
■ 環境とエコパーク …… 34

4 集客強化戦略 …… 36
■ 開催イベント …… 36
■ 食（グルメ）とお土産品 …… 40
■ 情報発信 …… 42
■ 交通アクセス …… 44
■ 観光戦略 …… 47

第Ⅳ章 管理運営体制

1 収　支 …… 50
2 管理運営体制 …… 51
各施設等の管理運営体制の方向性 …… 51
3 ボランティア・企業・団体等 …… 52
4 ときわ公園サポーター制度 …… 52

■ **用語解説** …… 53

第Ⅰ章 活性化基本計画の改定にあたって

計画改定の目的

ときわ公園は、昭和33年に常盤遊園地が開園して以来、憩いの場として、また本市の貴重な観光施設として多くの市民や観光客に利用されています。

年間入園者数は、昭和44年の約77万人をピークに減少しはじめ、平成に入ると50万人を下回るようになり、平成20年には、37万人台まで落ち込みました。その一方で、広大な公園と多様な施設を維持管理する経費は増加している状況でした。

このような中、本市の宝であるときわ公園を、利用者にとって魅力ある場として継承していくために、効果的な活性化策に取り組みながら、効率的な管理運営を行っていくことが課題となり、平成21年度は、遊園地を中心に連続的なイベントを実施するなど、入園者の増加に向けた施策を試行しました。また、平成22年5月に『常盤公園活性化基本計画』を策定し、公園の魅力づくりによる入園者の増加と持続可能な公園運営を図るための効果的かつ効率的な活性化方策を検討し、「環境・芸術・スポーツ・福祉」の融合した先進的なモデル公園を目指し、さまざまな施策を展開してきました。

この結果、平成26年度には、ときわ動物園のリニューアルオープンの効果もあり、年間入園者数が51万2千人と、24年ぶりに50万人を超えました。

今後、さらにときわ公園の魅力をグレードアップさせることで入園者を増やすとともに、「宇部市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（平成27年10月策定）、「宇部市観光戦略アクションプラン」（平成27年12月策定）に掲げた“ときわ公園を核とした観光戦略”に基づき、新しい人の流れをつくり、地域経済の活性化につなげるため、この計画を見直し、平成28年度から平成32年度までの5年間の計画を策定しました。

第II章 ときわ公園の概況

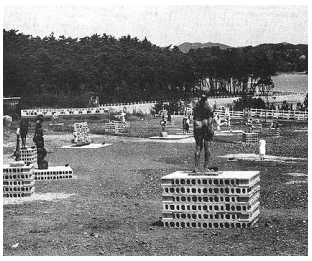
1 沿　革

ときわ公園は、元禄11年頃に灌漑(かんがい)用として常盤池が築堤され、昭和33年に常盤遊園地の開園、昭和36年に第1回宇部市野外彫刻展の開催、昭和37年～39年に宮大路動物園をときわ公園へ移設するなど、戦災復興の象徴、市民の憩いの場として、公園整備が進められてきました。

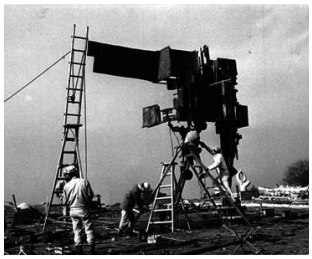
現在は、県内初の国の登録記念物（名勝地関係）であり、日本の都市公園100選、さくら名所100選、「21世紀に残したい日本の風景」総合公園としては第1位、美しい日本の歩きたくなるみち500選、ショウブ苑の「池坊花逍遥100選」（平成27年1月）、そして新日本歩く道紀行100選シリーズにおける「文化の道100選」（平成27年10月）に認定されるとともに、次世代エネルギーを活用する取組が経済産業省から「ときわ公園次世代エネルギーパーク」計画として認定されました。また、ときわ動物園のリニューアルなど、総合レクリエーション及びアミューズメントパークとしての魅力も増え、癒し・憩いの場、また県内屈指の観光施設として多くの方々に愛されています。

■ ときわ公園の主な成り立ち

和暦	西暦	出来事
元禄11年頃	1698年頃	常盤池の築堤
昭和32年	1957年	オランダの動物園から白鳥20羽導入
昭和33年	1958年	常盤遊園地の開園
昭和36年	1961年	第1回宇部市野外彫刻展の開催
昭和37～39年	1962～64年	宮大路動物園を常盤公園へ移設
昭和38年	1963年	老人憩いの家が旧厚狭郡楠町から移築
昭和40年	1965年	第1回現代日本彫刻展の開催／宇部常盤サボテンセンター開場
昭和41年	1966年	ショウブ苑を造成
昭和42年	1967年	インドからモモイロペリカン10羽導入
昭和44年	1969年	石炭記念館完成
平成3年	1991年	ときわ湖水ホール完成
平成4年	1992年	白鳥大橋完成、常盤湖一周園路5.7km完成
平成7年	1995年	熱帯植物館完成
平成9年	1997年	ときわレストハウス完成
平成13年	2001年	ときわ公園入園料無料化、駐車場料金有料化
平成22年	2010年	常盤公園活性化基本計画策定
平成23年	2011年	高病原性鳥インフルエンザ拡大防止のため白鳥を殺処分
平成24年	2012年	ときわ公園緑と花の計画策定／ときわ公園動物園ゾーンリニューアル着手 「ときわ公園次世代エネルギーパーク」計画の認定
平成25年	2013年	じゃぶじゃぶ池オープン／宇部市ときわ公園障害福祉サービス事業所開設
平成26年	2014年	花いっぱい運動記念ガーデン完成
平成27年	2015年	ときわ動物園「アジアの森林ゾーン」等先行オープン
平成28年	2016年	ときわ動物園グランドオープン予定／ときわミュージアム中庭リニューアル完成予定



History



2 概　況

(1) 施設と資源

ときわ公園は、本市の東部に位置し、市民のオアシスとして、また「緑と花と彫刻のまち」のシンボルとして、常盤湖を中心に緑あふれる広大な自然を残す、面積約189haの総合公園です。

平成27年3月にリニューアルオープンした「ときわ動物園」は、野生動物の生息環境を再現することで本来の行動を発揮させる「生息環境展示」を特徴とし、シロテテナガザルが木々を自由に飛び回る姿を見ることができるなど国内では大変珍しい動物園です。さらに、新たな小動物やさまざまな魅力が加わり、平成28年3月にグランドオープンを迎えます。

彫刻野外展示場では、昭和36年以来、50年以上続く世界で最も歴史のある野外彫刻の国際コンクール「ＵＢＥビエンナーレ（現代日本彫刻展）」が2年に一度開催されるほか、ときわミュージアムの温室では約400種と西日本一の保有品種数を誇るサボテンやラン、熱帯植物等が展示されており、県内外はもとより、外国からの観光客も増加しています。また、ときわミュージアムと体験学習館"モンスタ"は、環境学習拠点の機能も有しています。

その他、石炭記念館や遊園地もあり、四季折々の花や自然の中でジョギングやウオーキングなどが楽しめる都市公園として、市民の憩いの場となっています。

■ ときわ公園の施設・資源

▲常盤湖

▲ときわ動物園

▲体験学習館＂モンスタ＂

▲ときわ遊園地

▲イルミネーションイベント

▲花いっぱい運動記念ガーデン

▲ UBE ビエンナーレ

▲彫刻

▲ときわミュージアム

▲熱帯植物館

▲石炭記念館

▲ショウブ苑

▲出会いの広場

▲古民家「憩いの家」

▲じゃぶじゃぶ池

▲ときわ湖水ホール

▲ときわレストハウス

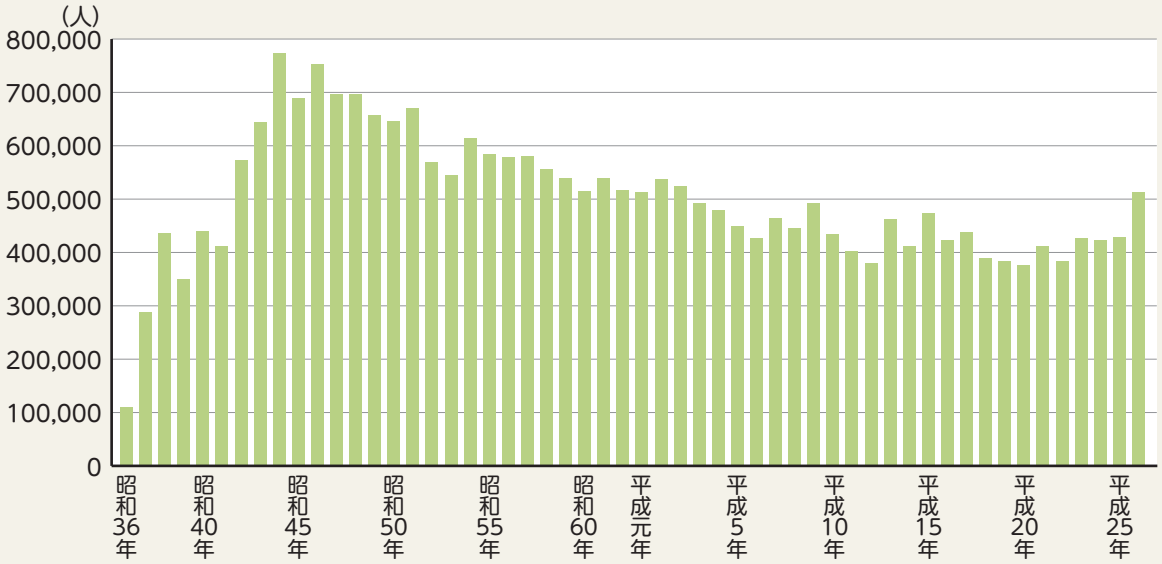
▲多目的広場・サッカー場

▲周遊園路

▲ときわ湖畔北キャンプ場

⑵ 年間入園者数の推移と動向

ときわ公園年間入園者数の推移



昭和44年に過去最高の77万人を記録した年間入園者数は、その後減少し始め、平成20年には37万人台まで落ち込んだことから、平成21年度に連続的なイベントの開催など入園者の増加に向けた施策を試行するとともに、平成22年に『常盤公園活性化基本計画』を策定し、魅力の向上に努めてきました。

近年は、「UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）」を中心とした総合アートイベントの開催や情報発信の強化等により、「UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）」の関心度も高まるとともに、『常盤公園活性化基本計画』に掲げたさまざまなイベントの開催や効果的なPRの結果、入園者数は上昇傾向にあり、さらに平成27年3月にリニューアルオープンしたときわ動物園の効果などから、平成26年度は大幅に入園者が増え、24年ぶりに50万人を超えました。

第Ⅲ章 基本方針と基本計画

1 基本方針

日本一の"自然体感テーマパーク"を目指して

(1) 将来像

ときわ公園は、常盤湖を中心とした緑豊かな里山や野鳥、四季折々の花木など自然に恵まれた広大な総合公園です。

近年は、じゃぶじゃぶ池の新設、花いっぱい倍増計画を推進するとともに、UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）やTOKIWAファンタジアの拡充、食のイベントなどさまざまな施策に取り組んでいます。

中でも、大きく魅力を増したのが、平成27年3月にリニューアルオープンしたときわ動物園です。生息地の環境を再現した国内では珍しい「生息環境展示」のもと、国内初のボンネットモンキーとコツメカワウソの同居展示、飼育頭数国内最多のシロテテナガザルの優雅な舞、さらに平成28年3月にグランドオープンする中南米やアフリカ・マダガスカルゾーンにも、国内初の取組が満載です。

また、「緑と花と彫刻のまち宇部」の歴史的ドラマをもつUBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）や、国内初となった公園維持管理のための障害福祉サービス事業所の開設など、**まさに日本一が集まったオンリーワンの総合公園**として、ときわ公園は進化し続けています。

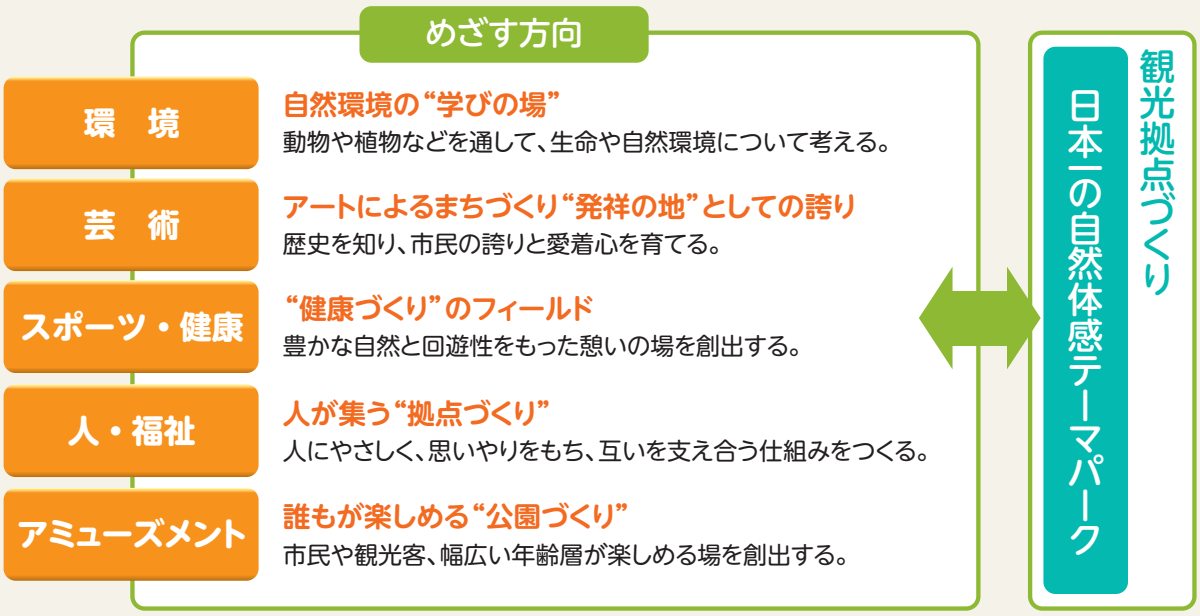
これらの多様な資源は、宇部市の財産であり、市民の誇りです。

緑あふれる湖畔をウオーキングしたり、園内のイベントやまつりに参加して家族や仲間と憩いの時間を過ごしたりと、まるでテーマパークのように人それぞれ、いろいろな楽しみ方ができます。

今後は、この貴重な資源を活用し、さらに進化させ、動物や植物、花木や自然などを通して、ふれあい、体感することで、生命や自然環境、歴史、文化芸術を誰もが楽しみながら学べる**日本一の“自然体感テーマパーク”**を目指します。

この素晴らしい公園を次世代につないでいくため、効率的かつ安定した管理運営を行いながら、園内などで観光消費を促進させる観光産業にも力を入れ、持続可能な公園づくりを進めていきます。

多様な資源にふれあい、体感することで、楽しみながら学べる総合公園



(2) 目　標

ときわ公園年間入園者数　目標 80万人

年　度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標数	70万人	75万人	80万人	80万人	80万人

ときわ動物園のグランドオープン、ときわミュージアムのリニューアルなどの施設整備に加え、観光客誘致のために、宿泊プランやスタディツアー、修学旅行プランなどの商品開発を行うとともに、民間プロデュースによる充実したイベントなどを開催し、併せて情報発信も強化することで、若者や子育て世代、また広域からの集客に取り組み、平成30年度以降は**過去最高の年間入園者数80万人**を目指します。

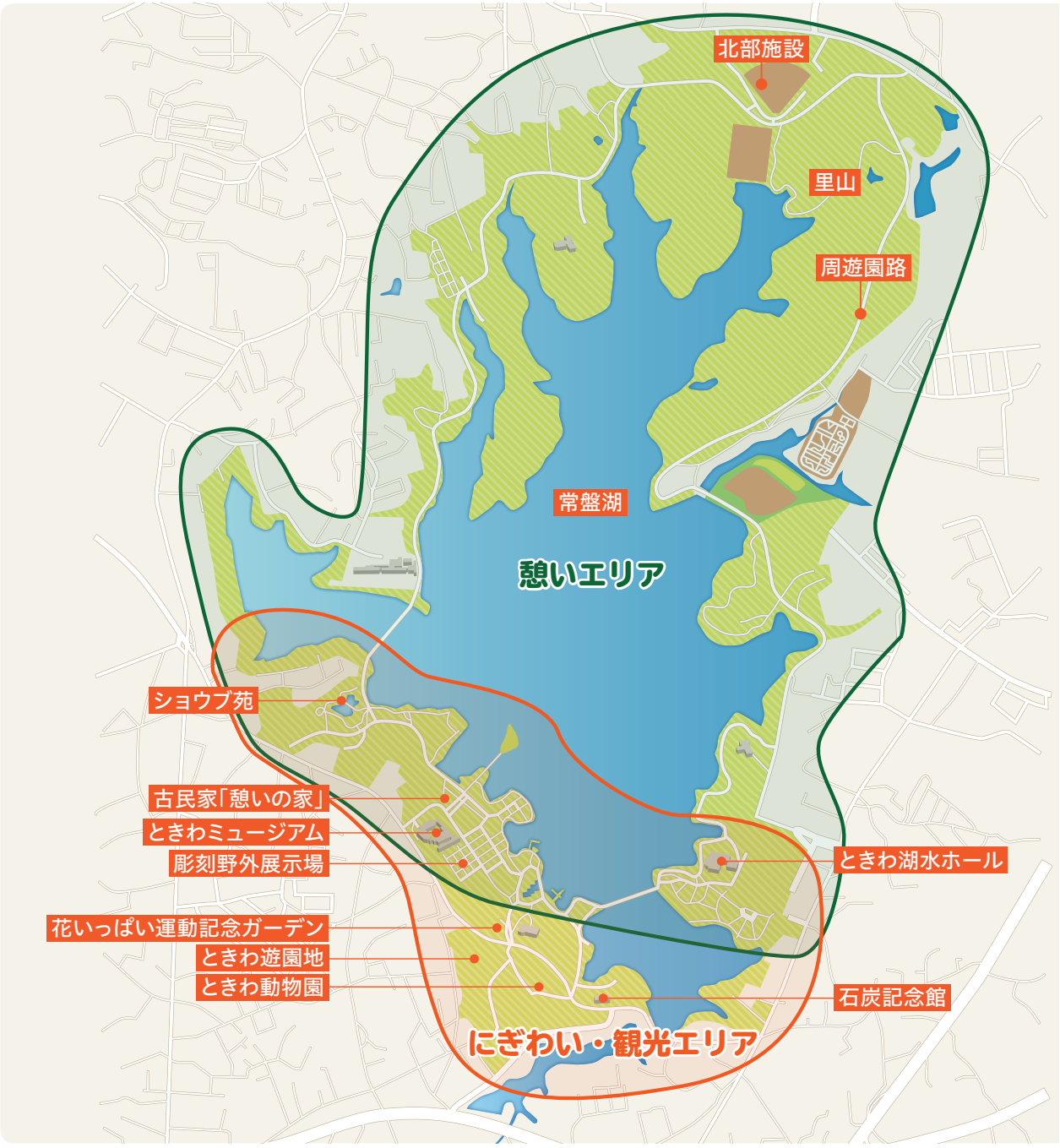
ときわ公園のここがオンリーワン！　（平成28年2月現在）

世界一	世界で最も歴史のある野外彫刻の国際コンクール「UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）」
日本一	「21世紀に残したい日本の風景」総合公園第1位／向井良吉彫刻作品所蔵数 シロテテナガザル・ボンネットモンキー・ハヌマンラングール・パタスモンキー・ハイイロペリカンの飼育頭数
国内初	石炭記念館／大規模な抽象野外彫刻「蟻の城」（向井良吉作）／動物園全体の「生息環境展示」／ボンネットモンキーとコツメカワウソ・ナマケモノとコアリクイ（H28.3～）の同居展示／障害福祉サービス事業所開設
先進的なモデル公園としての取組	県内初の国の登録記念物（名勝地関係）／「次世代エネルギーパーク」計画の認定 サボテンの保有品種数西日本一／花いっぱい運動記念ガーデンを活用した人材育成の仕組みづくり
将来日本一を目指すもの	サボテンの保有品種数／日本最大級のシンボルツリー コンテスト形式のイルミネーションイベント「TOKIWAファンタジア」

2 基本計画の概要

(1) エリア区分図

ときわ公園を、「にぎわい・観光エリア」と「憩いエリア」に大きく2つに分け、施設や資源の特性ごとで、「ときわ動物園」「ときわ遊園地」「彫刻・UBEビエンナーレ」「ときわミュージアム」「石炭記念館」「花木・花いっぱい運動記念ガーデン」「常盤湖・周遊園路・北部施設・里山」「その他の施設」「環境とエコパーク」に分類します。



(2) 基本計画の施策体系

施策展開の考え方

◆ **資源のポテンシャルを活用する**

ときわ公園の風景や歴史などの既存資源のポテンシャルを最大限活用し、さらに潜在しているブランド力を引き出すことで、新たな魅力を創出し、自然体感テーマパークにする。

◆ **公園を支える人材を活かす**

ときわ公園の人材ストックを活用し、訪れる市民や観光客、公園で活動する団体がつながり、みんなで支えていく自然体感テーマパークにする。

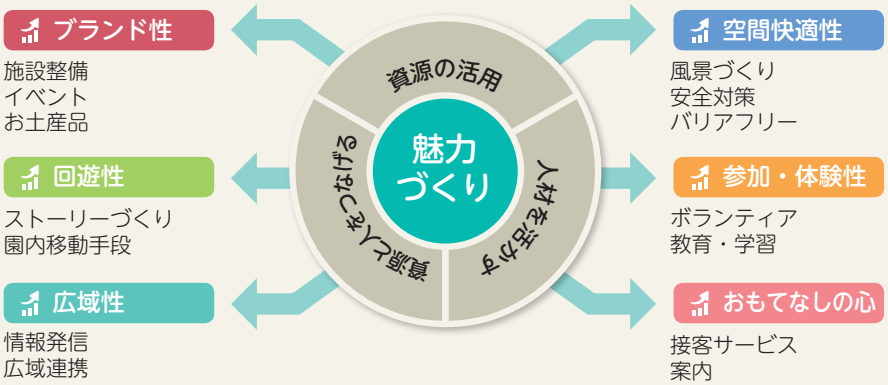
◆ **資源と人をつなげる**

ときわ公園内を人が回遊することで、新たな魅力と仕組みを創りだし、多世代が共に遊びやスポーツなどで楽しむことができる自然体感テーマパークにする。
現在の観光動向を見極め、広域的な観光拠点としての効果的な情報発信を行う。

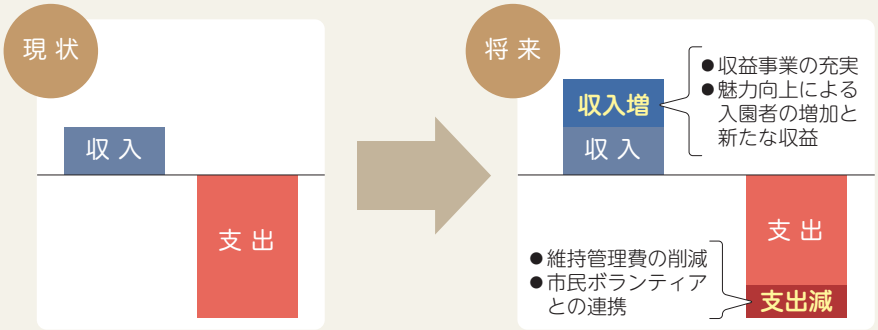
(3) 活性化の考え方

ときわ公園の活性化に向けて、「魅力づくり」と「公園運営」の視点が必要であり、「魅力づくり」の要素を高めていくとともに、収入増と支出減に向けた効率的な「公園運営」を行います。

魅力づくりの考え方



公園運営の考え方



3 施設・資源別計画

ときわ動物園

テーマ

世界の生息地を旅しながら動物に出会える“動物園”
～生命の大切さや自然環境の学びの場～

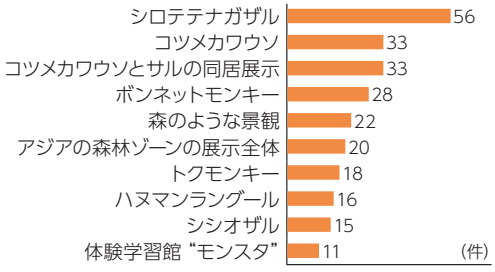
1 資源と特性

- 平成27年3月にリニューアルオープンし、平成28年3月にグランドオープンする。
- 野生動物の生息環境を再現し、本来の行動を発揮させる「生息環境展示」が特徴である。緑豊かな園内で、貴重な動物種を自然のままの姿で観察できる。
- 体験学習館“モンスタ”では、動物や自然環境について、体感・実感する体験を通し、楽しみながら学ぶことができる。

2 来園者の意向

- 霊長類だけでなく、他の動物も展示してほしい。
- 動物のエサやり体験やふれあいイベントを多く開催してほしい。
- 展示施設に入って、動物の気持ちを知りたい。
- 動物の生態を知ることができるクイズを実施してほしい。
- 動物の里親制度があるとよい。

ときわ動物園で人気があるもの



[平成27年度ゴールデンウィーク入園者アンケート結果より]

3 戦略課題

- ソフト面の充実などにより、動物園としての魅力を向上させ、新たな観光客の開拓やリピーターの確保などさらなる集客を図っていく必要がある。
- 魅力のある新たな小動物を展示するとともに、動物にふれあえる機会の創出が求められている。
- 国内外の他の動物園や関係機関と連携し、貴重な動物種の繁殖及び保存を強化していく必要がある。
- 生命の大切さや自然環境の学びの場づくりが必要である。

4 施策体系

資源の活用

ブランド性

- ■ 霊長類を中心とした貴重な動物種の展示
- ■ 特徴的な小動物を導入した魅力ある展示
- ■ シシオザルなどの希少動物の国際的な繁殖活動への参画 …… 園
- ■ 大学・研究機関との連携による調査研究 …… 園
- ■ 動物園オリジナル商品の拡充 …… P 民
- ■ 遊園地の遊具施設の更新との整合性を図りながら、動物園の拡充の検討

空間快適性

- ■ 木陰を活用したベンチの設置など休憩空間づくり
- ■ ミストの設置など快適に楽しめるようインフラの整備

人材を活かす

参加・体験性

- ■ ウオークインイベントなど動物とふれあうイベントの拡充 …… 園
- ■ 自然の地形や樹木を活かした遊び場の創出
- ■ 子どもたちが飼育員体験や動物ガイドなどの体験を通して学ぶイベントの開催 …… 園
- ■ ドリームデイ・アット・ザ・ズー（病気療養中の子どもたちを招待するイベント）の開催 …… 園
- ■ 獣医師や飼育員の仕事について学ぶワークショップなどの開催 …… 園
- ■ 体験学習館“モンスタ”での動物や自然環境について学ぶプログラムの実施 …… 園
- ■ ガイドツアーやスタディツアーの実施 …… 園 ボ
- ■ 出前講座の実施 …… 園
- ■ 動物の支援者になる「ときわ動物園サポーター制度」の拡充 …… 園
- ■ 企業等の参加や協賛によるイベントの開催（CSR 活動の誘致） …… P 民

おもてなしの心

- ■ 飼育員やボランティアによるガイドの充実 …… 園 ボ
- ■ スマートフォンによる多言語音声ガイドの実施
- ■ 障害者や高齢者等を支援するスタッフの育成 …… 園 ボ

資源と人をつなげる

回　遊　性

- ■ ICT を活用したコンテンツの開発
- ■ ときわ公園全体の資源を活用した回遊性の向上

広　域　性

- ■ 年間パスポートを利用した県内 5 施設（ときわ公園・下関市立しものせき水族館「海響館」・周南市徳山動物園・秋吉台サファリランド・やまぐちフラワーランド）連携の拡充
- ■ 他の動物園等との連携強化 …… 園
- ■ 動物園入園料等をセットにしたオリジナル宿泊プランなどの造成 …… 園 民
- ■ （仮）ときわ動物園だより等の発行による広報の充実 …… 園

■ ハード面　■ ソフト面

実施主体 ｜ 動物園協会…園　PPP（公民連携）…P　民間…民　共創…共　ボランティア…ボ　表記がないものは宇部市

ときわ遊園地

テーマ

動物園と一体感のある夢いっぱいの“森の遊園地”

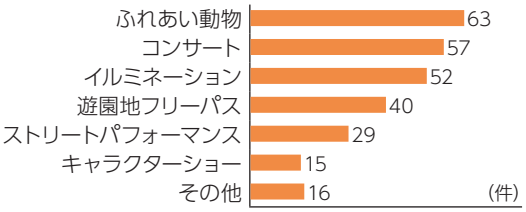
1 資源と特性

- 観覧車やスカイダンボなど大型遊具 11 機種をはじめ、子どもが楽しめる遊具が充実した、県内屈指の規模を誇る遊園地である。
- 休日や季節に合わせた多彩なイベントを開催している。
- 動物園のリニューアルオープン以来、子どもやファミリー層のほか、若者やシニア層も増加している。

2 来園者の意向

- 幅広い年齢層が楽しめる遊園地にしてほしい。
- ベンチなどを設置し、休憩場所を増やしてほしい。
- イルミネーションを充実してほしい。
- パフォーマンスなどの披露の場を増やしてほしい。
- フリーパスポートデー、キャラクターショーを多く開催してほしい。
- 動物園と一体感を持った緑を創出してほしい。

ときわ公園で求められているイベント



［平成27年度宇部市インターネット市民モニターアンケート結果より］

3 戦略課題

- 定期的な遊具の更新や施設改修、デザインの統一化を図り、ストーリー性のある、点から線・面への空間づくりが必要である。
- 施設整備や屋内型遊具の設置など雨天時等の集客力の強化が必要である。
- 木陰やミストなど入園者が快適に利用できる休憩空間づくりが求められている。
- 民間事業者と連携するイベントの開催など質的充実が求められている。
- イルミネーションイベントなどを通して、大学等と連携した人材育成が必要である。

4 施策体系

資源の活用

ブランド性

- 遊具施設の定期的な更新 …… 民
- 季節に合わせた期間限定の遊具の導入 …… 民
- 雨天時等にもステージイベントなどが開催可能な全天候型対応施設の整備の検討
- 動物園と一体感のあるデザインの統一化 …… 民
- TOKIWA ファンタジア、サマーフェスタなど既存イベントの拡充 …… P
- ハロウィンイベントなど新たな年齢層の集客が見込まれるイベントの開催 …… P 民
- 宇部の名物イベントになるような食のイベントの開催 …… 民

空間快適性

- 樹木の植栽など木陰の創出
- 木陰を活用したベンチの設置など休憩空間づくり
- ミストの設置など快適に楽しめるようインフラの整備

人材を活かす

参加・体験性

- コンテストやパフォーマンス披露など若者や各種団体が集うイベントの開催 …… P 民
- キャラクターショーやパスポートデーなど子どもやファミリー層向けイベントの充実 …… 民
- イルミネーションイベントなどを通した人材育成 …… P 民
- 企業等の参加や協賛によるイベントの開催(CSR 活動の誘致) …… P 民

おもてなしの心

- スタッフの定期的な接遇研修の実施 …… 民

資源と人をつなげる

回　遊　性

- ときわ公園全体の資源を活用した回遊性の向上 (再掲)

広　域　性

- ときわ公園宣伝隊による情報発信 …… P
- スタンプラリーなど県内 5 施設連携の拡充
- 他の観光施設等との連携

▲期間限定の遊具のイメージ

■ ハード面　■ ソフト面

実施主体 | 動物園協会…🏠　PPP（公民連携）…P　民間…民　共創…共　ボランティア…ボ　表記がないものは宇部市

Action Plan 動物園・遊園地エリア

中南米の水辺ゾーン

■ 特徴的な小動物を導入した魅力ある展示

霊長類以外にもカピバラやミーアキャット、ミナミコアリクイなどを導入し、生息地の環境を再現して動物本来の行動を発揮させる展示の工夫を行っています。

▲カピバラ

▲ミーアキャット

▲ミナミコアリクイ

山口宇部の自然ゾーン

■ 自然の地形や樹木を活かした遊び場の創出

「山口宇部の自然ゾーン」では、ニホンザルやフクロウなど現有する動物を観察できるほか、ロープ渡り等の自然の地形を用いた遊びの原体験が満喫できる“自然の遊び場”を整備します。

■ ウオークインイベントなど動物とふれあうイベントの拡充

▲アフリカの丘陵・マダガスカルゾーン

“ふれあい動物広場”を常設するとともに、展示施設等の中に入り、動物を間近に見ることができる「ウオークインイベント」を開催し、生命の大切さを体感しながら学びます。

■ シシオザルなどの希少動物の国際的な繁殖活動への参画

絶滅危惧種であるシシオザルやエリマキキツネザルなど希少動物の繁殖に力を入れ、国際的な繁殖活動に参画するとともに、動物がくらす自然環境についても考えます。

体験学習館“モンスタ”

■ 動物や自然環境について学ぶプログラムの実施

動物と自然環境、人間との関わりなどについて、体感・実感することを通して、楽しみながら学ぶことのできるストーリー性のあるプログラムやイベントを実施します。

■ 子どもたちが飼育員体験や動物ガイドなどの体験を通して学ぶイベントの開催

子どもたちが動物舎の清掃などの飼育員体験や動物ガイドをすることによって、動物の生態などを知り、生命や自然環境の大切さについて体感しながら学びます。

ときわ遊園地

■ 動物園と一体感のあるデザインの統一化

遊園地エリアを、緑あふれる森の動物園と一体感を持たせるため、動物園の色やデザインに合わせた空間づくりを行います。

▲空間づくりのイメージ

■ 遊具施設の定期的な更新

子どもから大人まで楽しめる遊具施設を定期的に更新します。

▲遊具施設のイメージ

■ 樹木の植栽など木陰の創出
■ 木陰を活用したベンチの設置など休憩空間づくり
■ ミストの設置など快適に楽しめるようインフラの整備

ときわ遊園地に樹木を植栽し、森の動物園と一体感を持った緑の創出を行い、点在する遊具施設を線や面でつなぎます。また、木陰にベンチやミストを設置するなど癒しの休憩空間づくりを行います。

彫刻・UBEビエンナーレ

テーマ

アートによるまちづくり“発祥の地”としての誇り

1 資源と特性

- 園内では、屋内外あわせて、約300点の彫刻作品を保有している。屋外には、約100点の野外彫刻作品が点在する。
- 常盤湖を臨む彫刻野外展示場では、世界で最も歴史のある野外彫刻の国際コンクール「ＵＢＥビエンナーレ（現代日本彫刻展）」が開催され、“彫刻のまち”の象徴として、宇部の文化を発信する役割を担う。
- ときわミュージアム本館及び分館では、所蔵作品展のほか、UBEビエンナーレ出品作品及び作家展や企画展、ワークショップなどが定期的に開催されている。

2 来園者の意向

- 彫刻作品を自由に見たり、触れたりできるところがよい。
- 宣伝不足である。もっと観光客を呼べる内容なので、情報発信を強化してほしい。
- 他県からの来訪者を増やすため、近隣の観光地（下関など）と連携して観光ルートをつくってほしい。
- 銘板にQRコードを記載したり、ビューポイントを示すマークを設置してほしい。
- 年代別、素材別ゾーンを作ったり、歴代の大賞作品を並べたりしてほしい。
- 全国の技術系、芸術系の学生に、実際の彫刻制作と展示の過程を体験してもらうワークショップを開催したらよい。
- 市内小中学生による定期的な清掃活動を実施したらよい。

3 戦略課題

- 宇部市の貴重な資源である彫刻を、市民の誇りと満足度の向上につなげていくためのさらなる対策が必要である。
- 彫刻周辺の環境改善や見せ方の工夫により、入園者にわかりやすく、魅力ある彫刻の鑑賞空間づくりが必要である。
- 彫刻と自然環境の融合など新しい魅力の創出を図る必要がある。
- UBEビエンナーレをはじめ、彫刻の文化と魅力をもっと国内外にPRしていく必要がある。
- 彫刻とふれあう機会や参加体験型イベントの定期的な実施など、彫刻の魅力を知ってもらう手法について、さらに検討する必要がある。

4 施策体系

資源の活用

ブランド性

- UBE ビエンナーレの今後のあり方の検討
- UBE ビエンナーレ入賞作家との企画イベントやワークショップの開催など連携強化
- UBE ビエンナーレゆかりの彫刻家や作品に関するアーカイブ作成と公開

空間快適性

- 水際を活かした彫刻で遊べる展示場の整備
- 魅力的で居心地のよい彫刻鑑賞空間づくり

人材を活かす

参加・体験性

- UBE ビエンナーレでの市民と協働したアートイベントの拡充 …… P
- 市民参加型のアートイベントの開催
- 彫刻清掃イベントや小中学生による清掃活動の実施 …… P ボ
- ガイドツアーやスタディツアーの実施 …… P ボ
- 小中学生を対象とした彫刻鑑賞プログラムの企画・実施など彫刻教育の推進
- アーティスト イン レジデンスの実施など作家と市民の交流の場の創出
- 所蔵彫刻の展示など定期的な企画展の開催
- 全国の芸術を学ぶ学生などを対象としたワークショップ等の開催
- 企業等の参加や協賛によるイベントの開催（CSR 活動の誘致） …… P 民

おもてなしの心

- UBE ビエンナーレや宇部の彫刻に関するビジターセンターの開設
- 学芸員やボランティアによる彫刻ガイドの充実 …… P ボ
- 入園者へのわかりやすい誘導や案内の充実
- 彫刻ガイド養成講座などへの講師派遣

資源と人をつなげる

回　遊　性

- ICT を活用したコンテンツの開発
- 彫刻におけるビューポイントの案内標示
- ときわ公園全体の資源を活用した回遊性の向上(再掲)

広　域　性

- UBEビエンナーレや宇部の彫刻に関するビジターセンターの開設（再掲）
- 国内外に向けた情報発信の強化や紹介展の開催
- PRブース設置や広報媒体への相互掲載など他の芸術祭や文化施設等との連携強化
- UBEビエンナーレ×まちじゅうアートフェスタの充実
- UBEビエンナーレの歴史を素材としたデザイン性の高いプロモーションビデオ等の制作
- 歴代の大賞作品や年代別、素材別で作品が鑑賞できるなどホームページの充実
- 東京オリンピック・パラリンピックを活用した観光プロモーションなどによる国内外の観光客誘致

■ ハード面　■ ソフト面

実施主体 | 動物園協会…🏠　PPP（公民連携）…P　民間…民　共創…共　ボランティア…ボ　表記がないものは宇部市

Action Plan 彫刻・UBEビエンナーレ

UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）

UBEビエンナーレの今後のあり方の検討
UBEビエンナーレ入賞作家との企画イベントやワークショップの開催など連携強化

「UBEビエンナーレ世界一達成市民委員会」が組織として充実し、市民総参加の総合アート化に向けたイベント等を独自に主体性を持って開催します。
UBEビエンナーレ事務局は、コンペティションとしての現代日本彫刻展を充実・発展させます。

アーティスト イン レジデンスの実施など作家と市民の交流の場の創出

UBEビエンナーレ実物制作指定作品の搬入について、作家の市内滞在を積極的に推奨し、設置の様子を入園者に鑑賞してもらうなど作家と市民のふれあいの場を創出します。また、アーティストトークや作家との交流会を開催し、作家と市民が身近にふれあえる機会を創出します。

彫刻教育の推進

小中学生を対象とした彫刻鑑賞プログラムの企画・実施など彫刻教育の推進

UBEビエンナーレ応募作品展（模型展）及び本展（野外彫刻展）開催時には、市内の全小学校で鑑賞授業を実施するとともに、市教育委員会と連携し、小中学生を対象とした学年カリキュラムの内容に合わせた授業案を提案し、実施します。

彫刻関連企画展

所蔵彫刻の展示など定期的な企画展の開催

200点に及ぶ近現代の彫刻や野外彫刻のための模型作品、100点に及ぶ素描を中心とした平面作品など所蔵作品を活用したテーマ展示やUBEビエンナーレ出品作家による企画展を定期的に開催し、野外彫刻やUBEビエンナーレについての理解を含め、彫刻文化に親しむ場を創出します。

広報戦略

UBEビエンナーレや宇部の彫刻に関するビジターセンターの開設
国内外に向けた情報発信の強化や紹介展の開催
PRブース設置や広報媒体への相互掲載など他の芸術祭や文化施設等との連携強化
歴代の大賞作品や年代別、素材別で作品が鑑賞できるなどホームページの充実
東京オリンピック・パラリンピックを活用した観光プロモーションなどによる国内外の観光客誘致

瀬戸内国際芸術祭との連携、山口情報芸術センター(YCAM)との連携に加え、他の芸術祭や文化施設等との間でPRブース設置や広報媒体への相互掲載、相互ワークショップの開催など連携を強化します。

UBEビエンナーレ及び宇部市における野外彫刻の歴史やコレクションを効果的に発信するため、ときわミュージアム第2企画展示室をUBEビエンナーレビジターセンターに改修し、アーカイブや図録の閲覧を常時容易にできるよう整備し、情報発信の拠点とします。

国内主要都市及び国外において、UBEビエンナーレ紹介展を開催し、UBEビエンナーレの歴史と魅力を全国的かつグローバルに発信します。

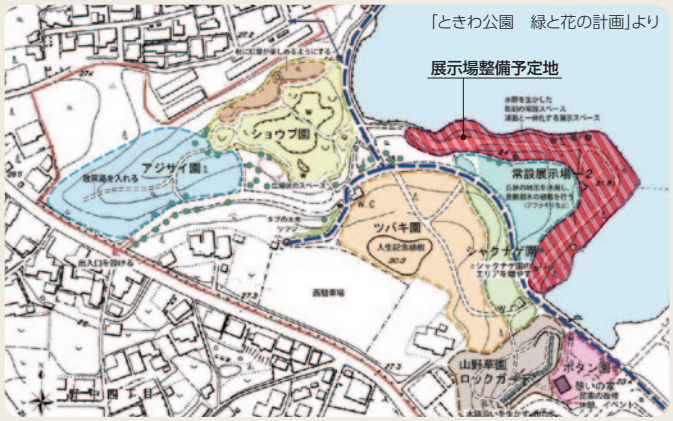
調査・研究

UBEビエンナーレゆかりの彫刻家や作品に関するアーカイブ作成と公開

柳原義達・向井良吉などの宇部市ゆかりの彫刻家や歴代のUBEビエンナーレ作品について、調査・研究を実施し、宇部市の文化の向上・発展に寄与します。

水際を活かした彫刻で遊べる展示場の整備

樹木の中に展示場を整備し、彫刻と自然環境の魅力の融合を図ります。この展示空間には、彫刻を水面に近い位置に樹木とのバランスを考えながら設置し、子どもたちが遊べることにも配慮します。



ときわミュージアム

テーマ

世界を旅し 感動する“植物館”

1 資源と特性

- 植物と彫刻を展示する全国でも稀な複合博物館である。
- 山口県唯一の熱帯植物館（日本植物園協会所属）である。
- ラン室は約400種のランを中心に約500種約1,700株、熱帯植物室は約260種約3,100本の植物を展示している。
- サボテンは約400種約10,000株を保有し、西日本一とされ、常時約2,000株を展示している。ときわ公園で作出された約80種のオリジナルサボテンを保有している。

2 来園者の意向

ときわミュージアムの温室を考えよう
～プラントハンター 西畠清順氏と考える～ワークショップでの意見

- 世界を旅する空間づくりをする。
- シンボルツリーを設置してほしい。
- サボテンの種類を日本一、世界一にする。
- 植物館内を上から見下ろせる仕掛けが欲しい。
- 中庭の活用を考えてほしい。
- 実がなる植物をもっと増やしてほしい。
- 植物の説明や育て方について質問できるガイドや講習会を充実してほしい。
- 作業に参加できるような参加体験型植物館にしてほしい。

3 戦略課題

- 緑と花と彫刻の博物館「ときわミュージアム」が開館20周年を迎え、熱帯植物館のリニューアルが必要である。
- わくわく感が出るような展示手法の見直しや植物の特長を体感できるような仕掛けなどが必要である。
- リニューアルにかかる財源などとして、関係団体と連携し、寄附金の募集やCSR等の手法を活用した独自の財源確保が必要である。
- 熱帯植物館のリニューアルにより、新たな魅力が創出されることから、観光施設として維持管理を行うため、入園料の徴収を検討する必要がある。

4 施策体系

資源の活用

ブランド性

- ■ 世界を旅する空間づくり
- ■ シンボルツリーの植栽などモノゴコロ（植物への関心）が芽生える展示
- ■ サボテンの保有品種数日本一に向けた取組
- ■ 花や果実など季節ごとに変化のある展示
- ■ 観る・嗅ぐ・触る・食べるなど五感で楽しむ展示及び仕掛けづくり
- ■ キャラクターの活用などときわミュージアム限定商品の開発 …… P 民
- ■ サボテンなどのヘルスケア関連商品の開発 …… 共
- ■ 所蔵植物、標本の収集と調査

空間快適性

- ■ エントランスにおける“わくわくする空間”の創出
- ■ 利用しやすい授乳室の設置
- ■■ 中庭のカフェ及びレストスペースとしての活用
- ■ 現地の音楽や植物を利用した BGM などゾーンごとに工夫した空間づくり …… P

人材を活かす

参加・体験性

- ■ ナイトミュージアムの開催
- ■ 子どもたちが植物ガイドなどの体験を通して学ぶワークショップ等の開催
- ■ ちょこっと温室探検や植栽等のワークショップなど参加体験型イベントの充実
- ■ 植物や環境などの学習講座の充実 …… P ボ
- ■ ガイドツアーやスタディツアーの実施 …… P ボ
- ■ 季節に応じた植物等の企画展の充実 …… P 民
- ■ 植物と彫刻の連携企画の実施 …… P ボ
- ■ 企業等の参加や協賛によるイベントの開催（CSR 活動の誘致） …… P 民

おもてなしの心

- ■ 植物ガイドの充実 …… P ボ
- ■ キャプションの統一化
- ■ スマートフォンによる多言語音声ガイドの実施
- ■ 障害者や高齢者等を支援するスタッフの育成
- ■ 植物館内におけるビューポイントの案内標示

資源と人をつなげる

回　遊　性

- ■ 動物園の熱帯ゾーンの植物を冬は温室で移動展示
- ■ ICT を活用したコンテンツの開発

広　域　性

- ■ 企画展の相互開催など県内 5 施設連携の拡充
- ■ （仮）ときわミュージアムだより等の発行による広報の充実

■ ハード面　■ ソフト面

実施主体 | 動物園協会…園　PPP（公民連携）…P　民間…民　共創…共　ボランティア…ボ　表記がないものは宇部市

Action Plan ときわミュージアムリニューアル計画

コンセプト

**世界を旅し
感動する“植物館”**

整備基本方針

■ 世界を旅する空間づくり

標本展示から生息環境展示(原産地ごとのエリア展示)にします。

- ■熱帯植物室…熱帯アジアゾーン、熱帯アメリカゾーン
- ■サボテン室…アフリカ・マダガスカルゾーン、南米ゾーン、北中米ゾーン
- ■ラ　ン　室…企画展示室
- ■中　　庭…ヨーロッパゾーン、オセアニアゾーン、中国・アジアゾーン、癒し・憩いの場として活用

▲中庭完成イメージ〈平成28年春完成予定〉

■ シンボルツリーの植栽など モノゴコロ(植物への関心)が芽生える展示

各ゾーンにシンボルツリーを配置し、サボテンの保有品種数日本一に取り組みます。

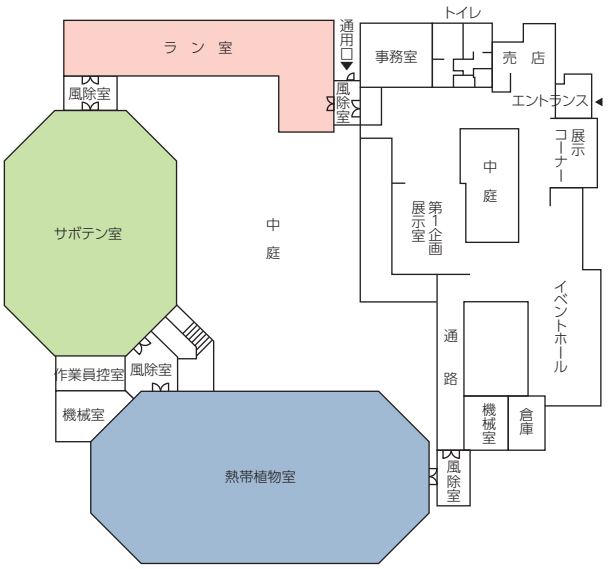
■ 花や果実など季節ごとに変化のある展示

いつでも楽しんで観賞できるように季節に応じて工夫し、より一層「見せる展示」から「魅せる展示」を目指します。

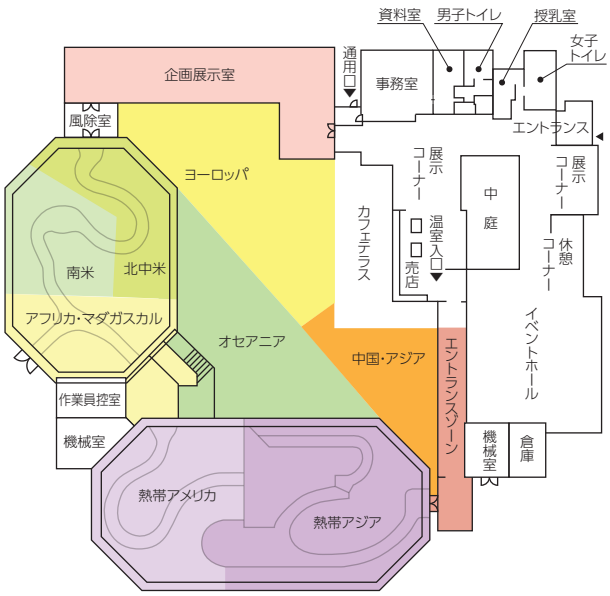
リニューアル整備計画スケジュール

リニューアルオープン

改　修　内　容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
中庭の整備	■	■		
サボテン室・熱帯植物室のリニューアル		■		
温室・ショップの整備		■		
ラン室の模様替え			■	
その他施設整備	■	■	■	■



▲現況(平面図)



▲改修案(平面図) 平成29年春オープン予定

ソフト事業の充実

観る・嗅ぐ・触る・食べるなど五感で楽しむ

目線の高さで花や果実を楽しむなど、植物の特長を体感できるような展示やさまざまな角度から植物を鑑賞できるなど、わくわくするような仕掛けをつくります。

植物や環境などの学習講座の充実

植物や環境などの学習講座の充実やアーティストによる植物と彫刻の連携企画など、公民連携を図りながら開催します。

植物ガイドの充実

植物ボランティアガイドの拡充と本格的な養成講座の実施、キャプションの統一化、音声ガイドの導入など、植物をよりわかりやすく観賞できる仕組みをつくります。

癒し・憩いの場の充実

中庭をカフェ及びレストスペースとして活用するなど、入館者がゆったりと休憩できる空間をつくります。

参加体験型イベントの充実

ちょこっと温室探検や植栽等のワークショップの実施など、入館者が体感しながら植物とふれあえるイベントを開催します。

ときわ動物園との連携

動物園の熱帯ゾーンの植物を冬は温室で移動展示するなど、動物園と連携します。

広報の充実

(仮)ときわミュージアムだよりの発行など、市民への情報提供、市内外への情報発信を強化します。

石炭記念館

テーマ

宇部の歴史を体感できる“石炭記念館”

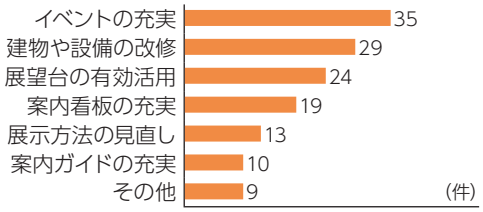
1 資源と特性

- 日本初の石炭記念館。石炭関係者をはじめ、多くの市民の寄附金で建設され、地域の歴史や文化を伝える博物館としての性格を持っている。
- 展望台からは、宇部市の街並みを一望することができる。
- 館内ガイドができる学芸員やボランティアなどが常駐している。

2 来園者の意向

- 建物や設備の劣化、老朽化が激しいので改修してほしい。
- 展示物や情報の内容が旧式で、わくわく感に乏しいので館内をリニューアルしてほしい。
- 館内説明板に多言語表記がほしい。
- 館内の換気の改善をしてほしい。
- 展望台の施設説明パネルのデザインを改善してほしい。

魅力ある石炭記念館にするために必要なもの



[平成27年度石炭記念館入館者アンケート結果より]

3 戦略課題

- 昭和44年に建設され、施設の老朽化が進んでおり、改修が必要である。
- 展望台からの景観を活かした展示及びイベントの開催が求められている。
- 外国人観光客の誘致に向けて、多言語化の対応が必要である。
- 繰り返し施設を訪れてもらえるよう展示内容をリニューアルする必要がある。
- 炭鉱の歴史を伝承できる人材が激減しており、石炭や炭鉱の歴史を紹介できる人材育成やボランティアガイドとの連携強化が必要である。

4 施策体系

資源の活用

人材を活かす

資源と人をつなげる

ブランド性

- ■ 老朽化した施設のリニューアル整備の検討
- ■■ ICT 等を活用した展示手法の導入や収蔵、展示物の見直し
- ■ 観る・嗅ぐ・触るなど体感して楽しむ展示及び仕掛けづくり
- ■■ 常盤湖及びときわ公園の歴史を紹介する展示

空間快適性

- ■ 展望台を活用したイベントの開催 …… P 民
- ■ 展望台の説明パネルの改善

参加・体験性

- ■ ガイドツアーやスタディツアーの実施 …… P ボ
- ■ 子どもたちが石炭に関する道具の体験などを通して学ぶイベント等の開催 …… P ボ
- ■ 定期的な企画展の開催
- ■ 企業等の参加や協賛によるイベントの開催（CSR 活動の誘致） …… P 民

おもてなしの心

- ■ 学芸員やボランティアによるガイドの充実 …… P ボ
- ■ ボランティアガイドの拡充と養成講座の実施 …… P ボ
- ■ 館内説明板の多言語化

回　遊　性

- ■ わかりやすい施設案内標示板の設置
- ■ ときわ公園全体の資源を活用した回遊性の向上（再掲）

広　域　性

- ■ 全国の石炭関連施設（長崎市、大牟田市、田川市、いわき市、夕張市、釧路市等）との連携による炭鉱の歴史継承
- ■ ホームページでの館内の収蔵物や炭鉱の歴史の紹介など情報発信の強化

■ ハード面　■ ソフト面

実施主体 | 動物園協会…家　PPP（公民連携）…P　民間…民　共創…共　ボランティア…ボ　表記がないものは宇部市

花木・花いっぱい運動記念ガーデン

テーマ

花や自然があふれた“癒しの空間”

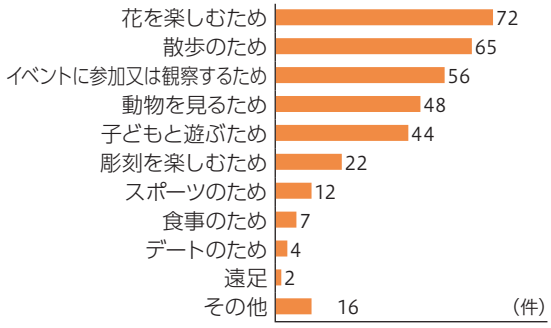
1 資源と特性

- 約3,500本のサクラは「さくら名所100選」、約80,000本のハナショウブがあるショウブ苑は「池坊花逍遥100選」(平成27年1月)に認定されている。
- 桜山、梅園、ショウブ苑、ボタン苑、シャクナゲ苑、ツバキ苑、アジサイ苑などがある。
- 園内には、出会いの広場、花笑(はなえみ)広場、大花壇など多くの花壇があり、年間を通して、四季折々の花を楽しむことができる。
- 花いっぱい運動記念ガーデンは“市民みんなでつくり みんなで育てるガーデン”をコンセプトに維持管理され、バラやハーブなどが癒しの空間を演出している。

2 来園者の意向

- ショウブ苑を広くし、遊歩道の水はけを良くしてほしい。
- 車イスが通りやすいようにしてほしい。
- 季節ごとの花の情報提供や花を楽しむためのウオーキングマップを作ってほしい。
- 花を選定し、植栽を集中させて、花見スポットをつくってほしい。
- アジサイ苑の見せ方を改善してほしい。
- ツバキ苑を改善してほしい。

ときわ公園に来園した主な目的



[平成27年度宇部市インターネット市民モニターアンケート結果より]

3 戦略課題

- ショウブ苑、ボタン苑、ツバキ苑、アジサイ苑等の整備及び環境改善が求められている。
- 「ときわ公園緑と花の計画」を推進していく必要がある。
- 花壇等の維持管理を行うボランティアなど市民協働の仕組みづくりが必要である。

「ときわ公園 緑と花の計画」
花いっぱい倍増計画の進捗状況

	花の面積	達成率
平成23年度末 (計画基準)	4,000㎡	—
平成27年度末予定	6,240㎡	78%
平成32年度末 (目標値)	8,000㎡	—

4 施策体系

資源の活用

ブランド性

- さくらまつりやしょうぶまつりなど季節の花木を活かしたイベントの拡充 …P
- 花いっぱい倍増計画の推進
- 花いっぱい運動記念ガーデンの充実 …ボ
- 県内屈指のショウブ苑としての環境整備
- 古民家「憩いの家」の改修に併せ、隣接するボタン苑と周辺のシャクナゲ苑やロックガーデンの環境整備
- 老木の更新等によるサクラの充実及び維持管理を行う桜守の創設 …P
- ツバキ苑、アジサイ苑等の環境整備
- 秋に紅葉が楽しめる環境整備
- 専門家と連携した花木の育成 …P
- バラ「宇部小町」の拡充と情報発信
- ブルーベリーやオリーブの果実等を使用した商品開発 …共

空間快適性

- 木陰を活用したベンチの設置など休憩空間づくり

人材を活かす

参加・体験性

- 記念植樹の実施

花いっぱい運動記念ガーデン

- ボランティア「宇部花いっぱいガーデナーズクラブ」による維持管理の充実 …ボ
- 市民ボランティアによる花植えイベントの実施 …ボ
- ガーデニングカレッジの開催 …P
- イベント等での利活用の促進 …P 民
- ハーブティーの試飲や種の配付などによる広報の強化 …P ボ

おもてなしの心

- しょうぶまつりやガーデンなどでのガイドツアーの実施

資源と人をつなげる

回　遊　性

- 花を楽しめるスポットを意識した周遊園路沿いの花の充実
- ICT を活用した季節ごとの花の情報発信
- 花を楽しむためのウオーキングマップ等の作成
- ときわ公園全体の資源を活用した回遊性の向上（再掲）

広　域　性

- サクラやショウブ、ボタンなど花の見ごろに合わせた観光ツアーの造成 …民
- ときわ公園のサクラをはじめとする市内の花回廊づくりと情報発信の強化

■ ハード面　■ ソフト面

実施主体 | 動物園協会…🏠　PPP（公民連携）…P　民間…民　共創…共　ボランティア…ボ　表記がないものは宇部市

常盤湖・周遊園路・北部施設・里山

テーマ

豊かな自然と回遊性をもった“憩いの場”

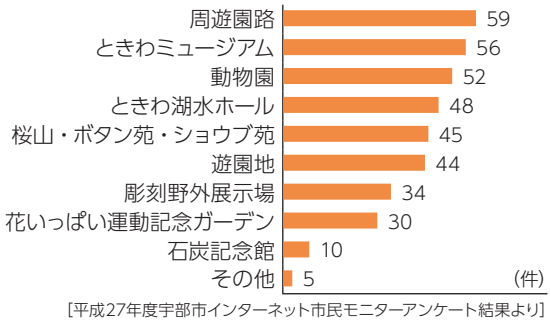
1 資源と特性

- 常盤湖は、江戸時代に灌漑(かんがい)用として造られた人工湖で、緑豊かな里山に囲まれ、自然に恵まれている。
- ときわ公園は、国の登録記念物(名勝地関係)である。
- 「美しい日本の歩きたくなるみち500選」のほか、新日本歩く道紀行100選シリーズにおける「文化の道100選」(平成27年10月)に認定されている。
- 湖畔には、野外彫刻作品やさまざまな花木があり、市民の憩いの場となっている。
- 湖では、ボートに乗ったり、鯉に餌を与えたり、水辺にふれあうことができる。
- 常盤湖を囲む5.7kmの周遊園路は、風景を楽しみながらウオーキングやジョギングが楽しめ、健康遊具も設置されている。
- ときわスポーツ広場は、サッカー、野球、グラウンドゴルフ等スポーツ活動の拠点になっており、駐車場や夜間照明も完備している。

2 来園者の意向

- 路面の劣化が進んでいるので修繕してほしい。
- 休憩できる木陰やベンチを設置してほしい。
- 常盤湖の水質が悪い。
- 湖から白鳥が居なくなって寂しい。
- 電気バスの園内一周運行を行ってほしい。
- 広大な湖面が活用されていない。
- 約100年前と変わらない宇部の原風景(里山風景)が見られる公園をもっとPRしてほしい。

ときわ公園でよく行く場所



[平成27年度宇部市インターネット市民モニターアンケート結果より]

3 戦略課題

- 市民が安心して利用できるよう周遊園路の舗装を整備管理するとともに、利用者のための休憩場所やビューポイント案内標示板等の設置などが求められている。
- 白鳥の復活が求められている。
- 常盤湖の水質の保全管理が必要である。
- 北部施設を利用する高齢者や障害者のための駐車場を整備する必要がある。

4 施策体系

資源の活用

ブランド性

- ■ 周遊園路の整備など安心して散策等に利用できる環境づくり
- ■ 野鳥が飛来する自然環境の保全 …… P ボ

常盤湖・豊かな湖面

- ■ 国のガイドラインに基づく安全管理体制を整備し、段階的な白鳥の復活
- ■ 湖面の活用の検討 …… P 民

里山のみどり

- ■ 里山の育成と保全 …… P ボ
- ■ 間伐した木材をチップ化し、有効活用するシステムの構築 …… P

北側のスポーツ広場を中心としたスポーツ活動の拠点づくり

- ■ 広域スポーツ大会などの誘致によるスポーツツーリズムの促進 …… P 民
- ■ スポーツ広場の一部芝生化
- ■ バリアフリー化など既存トイレの改善
- ■ スポーツ広場や周遊園路活用者のためのシャワー施設等の検討
- ■ ホームタウン支援を行っているレノファ山口によるサッカー教室等の開催

その他

- ■ 湿地をビオトープ池として整備し、子どもたちの遊びや学習の場として活用 …… 家
- ■ ビオトープ池の整備に併せ、高齢者や障害者用駐車場の整備

人材を活かす

空間快適性

- ■ 常盤湖を視対象としたあずまややベンチの設置など日陰を活用した休憩空間づくり
- ■ 常盤湖の継続的な水質調査及び水環境の保全
- ■ 計画的に伐採（再生・回復）エリアを設定し、景観を考慮した森林管理 …… P ボ

参加・体験性

- ■ 各施設や周遊園路を活用したウオーキングイベント等の開催 …… P 民
- ■ 豊かな自然を活かした昆虫採集などのイベントの開催 …… 家

おもてなしの心

- ■ 眺望の優れたビュースポットの整備及び案内標示板等の充実

資源と人をつなげる

回　遊　性

- ■ 各施設や周遊園路を活用したウオーキングイベント等の開催（再掲） …… P 民
- ■ 電気バス行路の延長など園内移動の利便性を考慮した運行の充実
- ■ 電気バスで園内ガイドやインフォメーションサービスが提供できるスタッフの育成 …… P ボ

広　域　性

- ■ 広域スポーツ大会などの誘致によるスポーツツーリズムの促進（再掲） …… P 民
- ■ バードウォッチングなど自然を満喫できる魅力の情報発信

■ ハード面　■ ソフト面

実施主体 | 動物園協会…家　PPP（公民連携）…P　民間…民　共創…共　ボランティア…ボ　表記がないものは宇部市

その他の施設

テーマ

誰もが楽しめる"公園づくり"

1 資源と特性

- 昭和38年に旧厚狭郡楠町から移築された古民家「憩いの家」は、ボタン苑やシャクナゲ苑などに囲まれた癒しの場となっている。
- ときわ湖水ホールは、災害時における市庁舎の代替機能施設に指定されている。

2 来園者の意向

- 駐車場から各施設への行き方がわかりにくい。
- 外国人観光客に対する多言語表記などの環境整備が不足している。
- 園内の見どころや眺望スポット等に説明板を設置してほしい。
- 表示には、文字だけでなく、視覚的にもわかりやすいマークを作ってほしい。
- 建物内に鍵のかかる広いスペースをとった授乳室を設置してほしい。
- 休憩所、トイレ、レストランやカフェなどへのわかりやすい案内標示が欲しい。
- 施設の新築及び改装する場合は、園内と統一感のあるデザインにしてほしい。
- 正面入口周辺をもう少し華やかなイメージにしてほしい。
- 障害者や高齢者などが利用しやすい公園にしてほしい。

古民家「憩いの家」改修ワークショップでの意見

- 古民家のたたずまいを残したい。
- 古い時代のくらしが体験できるよう、茅葺き屋根、畳、土間、縁側などを再現してほしい。
- 縁側が南面になるようにしてほしい。
- お茶会や展示、イベントスペースとして利用したい。

3 戦略課題

- 老朽化した古民家「憩いの家」を改修し、利活用することが求められている。
- わかりやすい案内標示の改善や多言語化など外国人観光客への対応も求められている。
- ときわ湖水ホールを防災拠点として整備する必要がある。

4 施策体系

資源の活用

ブランド性

- 古民家「憩いの家」の改修
- 古民家「憩いの家」での伝統文化活動の場などの創出 …… P 民

公園の管理・運営機能の拠点づくり（自動車学校南）

- 園内で発生する落ち葉などを集積し、堆肥化の拠点づくり
- 動物の飼料となる牧草を育てる畑の整備 …… 🏠
- 園外からの車輌等による進入路を新たに整備

その他

- メインゲートである正面入口周辺の改修
- 新たな彫刻展示場の整備に併せ、特徴的な植栽による新名所の創設
- フィールドアスレチック設置の検討 …… 民
- ヤギによる放牧除草 …… P
- ときわ湖水ホールの防災拠点としての環境整備
- 公園周辺の駐車場誘導看板の充実
- 駐車場の整備拡充

空間快適性

- 公衆無線 LAN（Wi-Fi スポット）の整備
- 園内全体のデザインの統一化
- バリアフリー化など既存トイレの改善
- 防犯カメラの設置など安全管理体制の確立

人材を活かす

参加・体験性

- 古民家「憩いの家」での伝統文化活動の場などの創出（再掲） …… P 民
- ときわ湖水ホール等の利用促進の向上

おもてなしの心

- 障害者や高齢者など誰もが楽しめる公園づくり
- 利用しやすい授乳室の設置
- 案内標示板の多言語化
- 駐車場等での警備員や誘導員の適正配置

資源と人をつなげる

回　遊　性

- 園内における休憩所、トイレ、レストランやカフェ等へのわかりやすい施設案内標示板の設置
- 園内の見どころやビュースポット等の案内及び説明板の設置

広　域　性

- 県内外から公園までの主要道路の沿線等での案内標示の充実

■ ハード面　■ ソフト面

実施主体 | 動物園協会…🏠　PPP（公民連携）…P　民間…民　共創…共　ボランティア…ボ　表記がないものは宇部市

Action Plan

緑と花と彫刻のブレスレット構想

[ときわ公園 緑と花の計画]

常盤湖を掌(てのひら)、拠点を宝石に見立て、それらを周遊園路でつないでいくブレスレットのような構成をイメージしながら、全体をつくりあげていくことを目指します。

全　体

- 障害者や高齢者など誰もが楽しめる公園づくり
- 常盤湖を視対象としたあずまややベンチの設置など日陰を活用した休憩空間づくり
- 花いっぱい倍増計画の推進
- 公衆無線 LAN（Wi-Fi スポット）の整備
- 園内全体のデザインの統一化
- バリアフリー化など既存トイレの改善
- 防犯カメラの設置など安全管理体制の確立
- 利用しやすい授乳室の設置
- 案内標示板の多言語化
- 園内における休憩所、トイレ、レストランやカフェ等への施設案内標示板の設置
- 園内の見どころやビュースポット等の案内及び説明板の設置
- 電気バス行路の延長など運行の充実
- メインゲートである正面入口周辺の改修
- 野鳥が飛来する自然環境の保全

常盤湖・豊かな湖面

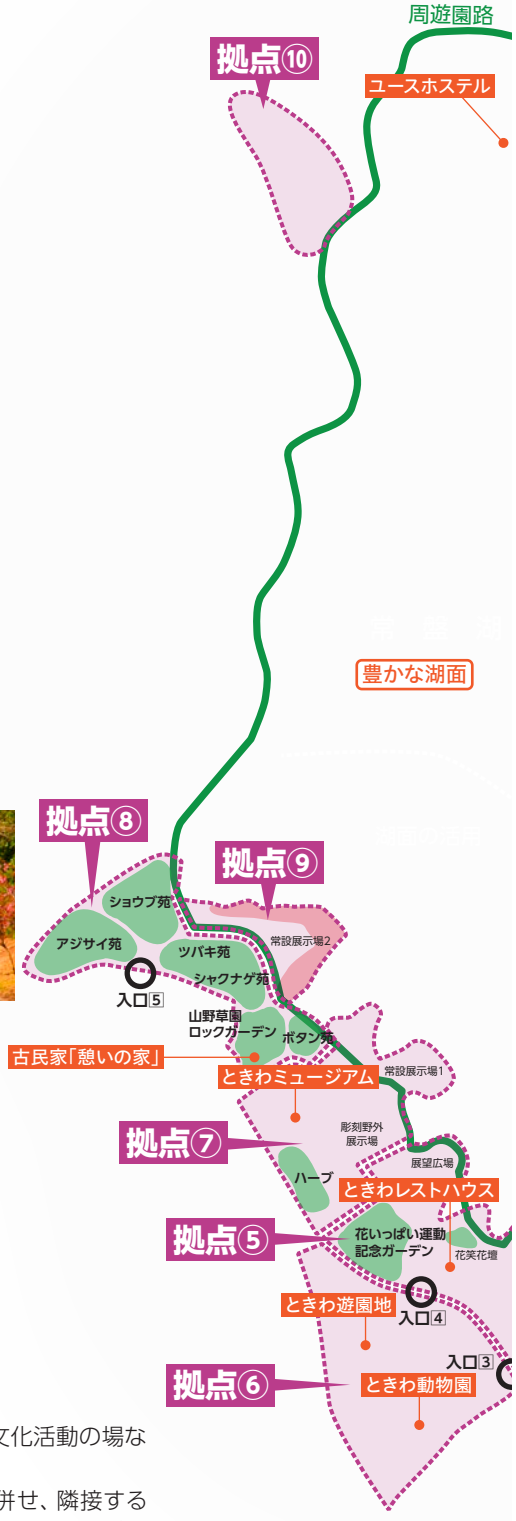
- 常盤湖の継続的な水質調査及び水環境の保全
- 湖面の活用の検討

里山のみどり

- 里山の育成と保全
- 計画的に伐採エリアを設定し、景観を考慮した森林管理
- 間伐した木材をチップ化し、有効活用するシステムの構築

周遊園路の魅力づくり

- 花を楽しめるスポットを意識した周遊園路沿いの花の充実
- 周遊園路の整備など安心して散策等に利用できる環境づくり
- 各施設や周遊園路を活用したウオーキングイベント等の開催



拠点⑧　植物と山野草園を中心とする拠点（古民家の再生）

ショウブ苑

アジサイ苑

ツバキ苑

- 県内屈指のショウブ苑としての環境整備
- ツバキ苑、アジサイ苑等の環境整備

古民家「憩いの家」

ボタン苑

- 古民家「憩いの家」の改修
- 古民家「憩いの家」での伝統文化活動の場などの創出
- 古民家「憩いの家」の改修に併せ、隣接するボタン苑と周辺のシャクナゲ苑やロックガーデンの環境整備

拠点① 北側のスポーツ広場を中心としたスポーツ活動の拠点

北部施設

- 広域スポーツ大会などの誘致によるスポーツツーリズムの促進
- スポーツ広場の一部芝生化
- バリアフリー化など既存トイレの改善
- スポーツ広場や周遊園路活用者のためのシャワー施設等の検討
- ホームタウン支援を行っているレノファ山口によるサッカー教室等の開催
- 湿地をビオトープ池に整備し、子どもたちの遊びや学習の場として活用
- ビオトープ池の整備に併せ、高齢者や障害者用駐車場の整備

拠点② 公園の管理・運営機能の中心拠点

- 園内で発生する落ち葉などを集積し、堆肥化の拠点づくり
- 動物の飼料となる牧草を育てる畑の整備
- 園外からの車輌等による進入路を新たに整備

拠点③ ブルーベリー園を中心とした拠点

- ブルーベリーやオリーブの果実等を使用した商品開発

拠点④ ときわ湖水ホール

- ときわ湖水ホールの利用促進の向上
- ときわ湖水ホールの防災拠点としての環境整備

桜　山

- 老木の更新等によるサクラの充実及び維持管理を行う桜守の創設

拠点⑤ にぎわいと歴史の拠点

花いっぱい運動記念ガーデン

- 花いっぱい運動記念ガーデンの充実
- ボランティアによる維持管理の充実

石炭記念館

- 老朽化した施設のリニューアル整備の検討

拠点⑥ 遊園地と動物園

拠点⑦ 植物と彫刻の調和の拠点

拠点⑨ 森の中の彫刻展示場

- 新たな彫刻展示場の整備に併せ、特徴的な植栽による新名所の創設
  水際に野外彫刻の常設展示場を整備し、彫刻と自然環境の融合を図ります。
  中央部のゆるやかな丘には、特徴的な植栽等を植え、ときわ公園の新しい名所を創ります。

拠点⑩ スポーツ&レスト（休憩場所）

環境とエコパーク

テーマ

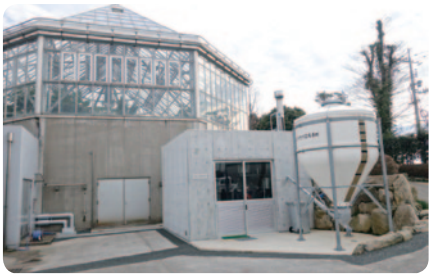
エコパークでの体験を通した“環境学習の拠点”

1 資源と特性

■ 主要施設に再生可能エネルギー設備を導入している。

▲風力発電

▲太陽光発電

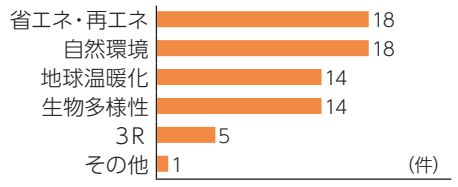

▲木質ペレットボイラー

■ 電気自動車や電気自動車用急速充電器を備えている。
■ 照明のLED改修など省エネへの取組や企業と連携し、新技術の実証実験などを行っている。
■ 「次世代エネルギーパーク」計画に認定されている。(平成24年10月経済産業省)

2 来園者の意向

- 自然エネルギーによる園内での自給自足を行ってほしい。
- ときわ公園を題材とした環境教育の推進を行ってほしい。
- 体験学習館“モンスタ”で生物多様性、里山、水の重要性、身近な生き物など温暖化による変化を学習できるプログラムを実施してほしい。

環境について関心のある分野



[第2回宇部と地球の環境を考えるフォーラム参加者アンケート結果より]

3 戦略課題

■ 次世代エネルギーについて、積極的に情報発信し、環境教育を推進する必要がある。
■ 次世代エネルギーや省エネに係る導入済み設備を利用した各種環境学習プログラムの確立が必要である。
■ 園内の環境学習拠点施設を活用し、動物や植物などを通して自然環境を学ぶストーリー性を持ったプログラムの拡充が必要である。

4 施策体系

資源の活用

人材を活かす

資源と人をつなげる

ブランド性

- ときわ湖水ホールでの蓄電池の設置
- 地中熱利用設備の実証実験の実施 …… 民
- 水上太陽光発電設備設置の検討などエネルギーの自給自足の推進
- ヒートアイランド現象を緩和する舗装材の利用
- 里山の育成と保全（再掲） …… P ボ
- 間伐した木材をチップ化し、有効活用するシステムの構築（再掲） …… P
- スポーツ広場の一部芝生化（再掲）
- 湿地をビオトープ池として整備し、子どもたちの遊びや学習の場として活用（再掲） …… 家
- 園内で発生する落ち葉等を集積し、堆肥化の拠点づくり（再掲）
- ヤギによる放牧除草（再掲） …… P

空間快適性

- 計画的に伐採（再生・回復）エリアを設定し、景観を考慮した森林管理（再掲） …… P ボ

参加・体験性

- 動物や植物を通して自然環境について考えるワークショップ等の開催
- 体験学習館“モンスタ”での動物や自然環境について学ぶプログラムの実施（再掲） …… 家
- 次世代エネルギーなどに関する環境教育学習プログラムの実施
- ときわ公園のフィールドを活用した体験を通して環境を学ぶスタディツアーの実施
- 環境学習講座等の開催
- 豊かな自然を活かした昆虫採集などのイベントの開催（再掲） …… 家
- ごきげん未来フェスタなど環境の取組を推進するイベントの開催 …… P 民
- 企業等の参加や協賛によるイベントの開催（CSR 活動の誘致） …… P 民

広　域　性

- 経済産業省による広報事業と連携した情報発信

■ ハード面　■ ソフト面

実施主体 ｜ 動物園協会…家　PPP（公民連携）…P　民間…民　共創…共　ボランティア…ボ　表記がないものは宇部市

4 集客強化戦略

ときわ公園年間入園者数80万人を目指し、集客力を強化するため、公園の資源を活かしたイベントのグレードアップや食（グルメ）とお土産品の充実、効果的な情報発信、交通アクセスの強化、誘客のための観光戦略などに取り組みます。

開催イベント

ときわ公園では、年間を通して、さまざまなイベントを開催し、にぎわいを創出しています。
既存のまつりなどをさらに拡充させ、ときわ公園のテーマパーク化を加速させます。
民間事業者のプロデュースなどにより、イベントのグレードアップを図るとともに、ICTを駆使した光と音のイベントを開催するなど、観光客を誘致できる新たな企画に取り組み、近隣圏域からの集客を強化します。

集客強化イベント

◆イルミネーションイベント

「イルミネーションコンテストといえばときわ公園」を目指す冬のイベント"TOKIWAファンタジア"は、園内で開催されるイベントの中で最も集客力を持っています。

遊園地のほか、花いっぱい運動記念ガーデン周辺までエリアを拡充して公園を光で包み込み、幻想的な空間を体感できる日本一のイルミネーションコンテストイベントを目指します。

また、おしゃれなカフェでの飲食など、さらに食を充実し、冬のイベントのにぎわいをパワーアップさせ、広域からの集客を図ります。

今後は、さらなる集客強化のため、開催手法についても検討します。

◆ファンタスティックサマーイベント

サマーフェスタ

民間及び民間プロデュースによる集客力のあるイベントを企画開催します。入園者が参加することで季節を体感できる多彩なプログラムを実施するとともに、食との連携を強化させ、イベント内容のグレードアップを図ります。

光と音を利用したイベント

滞在を促すことができる夜型観光スポットを創るため、園内の豊かな自然を活かし、全国的に活躍している専門家によって最先端のテクノロジーとアートの融合するクリエイティブなデジタルアートイベント等を開催するとともに、大学等と連携しながら、学生の人材育成にもつなげます。

◆キャラクターショーやパスポートデーなど子どもやファミリー層向けイベント

年間を通して実施する季節ごとのキャンペーンで、キャラクターショーなど子ども・ファミリー向けイベントやときわ遊園地の遊具が乗り放題になる大人気のパスポートイベントを定期的に実施します。

◆若者や各種団体が集うイベント

音楽やダンスなど若者や各種団体がパフォーマンス活動を披露する場として園内を活用し、市内外からの集客が見込まれるイベントを開催します。また、「食」をテーマにしたイベントも展開します。

ふれあい動物イベント

◆動物にふれあえるイベント

子どもから大人まで幅広い人気があり、最も要望が多いイベントです。

動物にふれあうことで、生命の大切さを体感しながら楽しく学びます。

動物園のグランドオープンに併せて、「ふれあい動物広場」を常設するとともに、当園にいない動物にもふれあえる機会を創出するため、他の施設と連携し、定期的に「ふれあい動物デー」を開催します。

また、新たな企画として、展示施設等の中に入り、動物を間近に観ることができる「ウオークインイベント」も開催します。

季節に合わせたイベント

◆季節や花木を活かしたイベント

四季折々を体感できる花木を活かしたさくらまつりやフラワーフェスタ、梅まつり、また秋のハロウィンイベントなどを開催し、季節のキャンペーンとして、季節感あふれるさまざまなイベントを展開します。

特に、ショウブ苑は県内一を目指し、まつりのさらなるグレードアップを図ります。

実行プラン

年間を通して連続的なキャンペーンを実施するとともに、子どもから高齢者までが楽しめるイベントを集中的に実施します。

取　組	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
梅見頃キャンペーン												
春のキャンペーン												
ゴールデンウィークキャンペーン												
初夏のキャンペーン												
TOKIWAファンタスティックサマー												
秋のキャンペーン												
TOKIWAファンタジア												

環境に関するイベント

◆環境などをテーマにしたイベント

動物や植物を通して自然環境を考えるワークショップ等の開催や体験学習館“モンスタ”等でのストーリー性を持った企画プログラムを実施します。

また、健康づくり・子育て・環境の取組を総合的に推進するイベントの中で、自然や次世代エネルギーパークを活用した環境イベントを開催します。

市民参加型イベント

◆市民参加型アートイベント

アートによるまちづくりの発祥の歴史を知り、文化芸術に親しむことで愛着心と豊かな情操を養うため、彫刻とふれあい、体感できるアートイベントや彫刻清掃イベントなどを開催します。

◆子ども向けの各種参加体験型イベント

動物画コンクールや動物ねんど作品コンクールなど夏休みの課題作品制作など体験型ワークショップを開催します。

また、彫刻では「夏の美術室」と題した夏休みワークショップマンスや宇部市発展の礎である石炭産業の歴史について気軽に学べるイベントを開催します。

◆周遊園路を活用したロードレースやウオーキングイベント

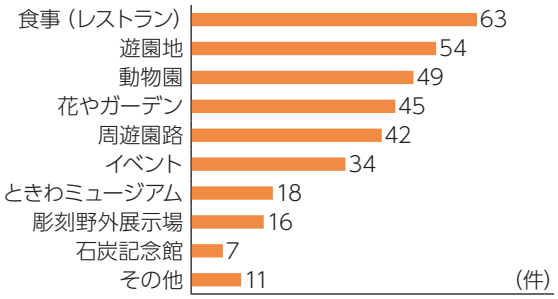
小中学生やスポーツ団体及び市民等を対象に、周遊園路を活用したロードレースやウオーキングイベントを年間通じて継続的に実施し、園内の回遊性の向上を図ります。

食(グルメ)とお土産品

ときわ公園で充実してほしいものとして、食（レストランなど）を希望する声が大きくなっています。近年は、入園者の食に対するニーズも多様化しており、園内店舗のメニューの工夫や商品の提供能力を強化していく必要があります。

また、観光客向けのお土産品についても、新たなオリジナル商品の開発に取り組みます。

その他、「食」に関するイベントなどを開催することで、観光客のさらなる誘客強化を図ります。



［平成27年度宇部市インターネット市民モニターアンケート結果より］

入園者への食の提供

既存店舗との連携を強化し、食の提供の充実を図ります。

- 民間の経験や知識を活かした動物や彫刻などのオリジナルメニューの開発
- 大型連休やイベント開催時などの繁忙期は、既存店舗以外の出店も募ることによる安定した食の提供
- 団体旅行客等に対応できるよう食を大量に提供できる仕組みづくり（山口宇部弁当の活用等）
- 店内飲食店マップ＆メニュー一覧の作成
- テイクアウトできるメニューの開発
- 園内で採れる食材（ブルーベリー、梅、オリーブなど）や市内で採れる食材を活用した地産地消メニューの開発

「食」のイベント開催

TOKIWA ファンタジアやサマーフェスタなどイベント開催時での食の充実を図るとともに、民間運営による B 級グルメコンテストやラーメンフェスを誘致するなど、宇部の名物イベントになり得る「食」のイベントを開催し、集客を図ります。

お土産品

既存店舗や市内の民間企業と連携し、ときわ公園オリジナル商品として特徴的なお土産品開発に取り組みます。

- 園内で採れる材料（ブルーベリー、オリーブなど）を使った商品開発
- 動物や彫刻などをモチーフにしたオリジナル商品の充実
- サボテンキャラクターの活用など、ときわミュージアム限定グッズの開発
- 宇部の特産品や工芸品を販売する「宇部物産展」の開催

ヘルスケア産業の育成・振興

園内で植栽するサボテンやオリーブなどを使用した、民間等によるヘルスケア関連の商品化を検討します。

民間活力の導入

園内で開催されるイベントについては、市が行うイベントは民間プロデュースにより、グレードアップを図っていくことはもちろん、民間運営による宇部の名物になるような食のイベントや新たな年齢層の集客が見込まれるイベント、企業等の CSR 活動による参加や協賛によるイベントの積極的な誘致に取り組みます。

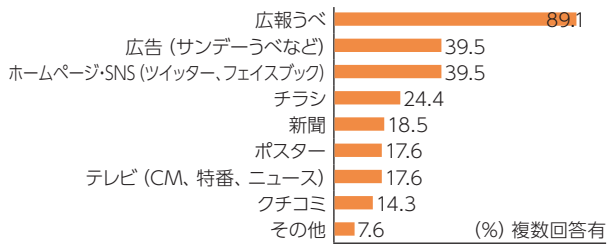
また、園内で植栽するブルーベリーやオリーブ、サボテンなどを商品化する共創の仕組みづくりの構築を検討し、ヘルスケア産業にもつなげます。

その他、エコパーク化の取組として、民間へ環境実証実験の場の提供を行います。

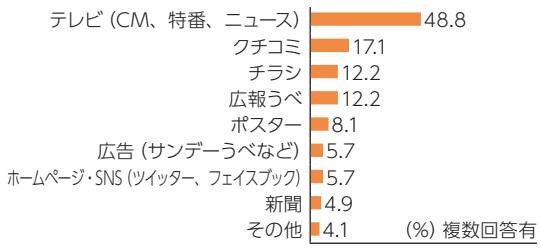
情報発信

近年、スマートフォン等の情報端末が普及したことで、観光情報の入手経路が多様化し、リアルタイムでの情報提供が重要になっています。多様なターゲットを意識し、さまざまな媒体を駆使するとともに、発信するエリアや対象者に合わせた旬な情報を発信していきます。

ときわ公園のイベントや情報の主な入手方法



［平成27年度宇部市インターネット市民モニターアンケート結果より］



［平成27年度ゴールデンウィーク入園者アンケート結果より］

市民を対象としたアンケートによると、ときわ公園に関する情報入手方法は、広報うべや新聞の折り込み広告、ポスティングによるチラシなどが多いという結果でした。また、市外からの入園者が多い大型連休でのアンケートでは、ときわ動物園のリニューアルオープン時に制作したテレビCMやテレビの特番・ニュース等、圧倒的にテレビから情報を入手した人が多く、メディアによる情報発信が有効であることが分かりました。

ターゲット別による戦略手法

発信エリア	誰　に	何　を	手　段
市内・近隣市	市民 観光客 学校等	憩いの場 園内で開催される各種イベント 季節の花や食の情報 体験学習（スタディ）プログラム	広報うべ、新聞、チラシ 折り込み広告 各イベントでのPRブース ホームページやフェイスブック等 PRシートによるセールス活動
近隣圏域	観光客 学校 旅行代理店等	魅　力 UBEビエンナーレ ときわ動物園 食の情報 体験学習（スタディ）プログラム	観光パンフレットやガイドブック ホームページやフェイスブック等 雑誌等の掲載 テレビなどのメディア PRシートによるセールス活動
首都圏等広域	観光客 旅行代理店等	話題性 UBEビエンナーレ ときわ動物園 ＋ 宇部市内のさまざまな観光資源	ホームページやフェイスブック等 雑誌等の掲載 テレビなどのメディア 物産展等でのPRブース 紹介展
国外	観光客 旅行代理店等	世界一 UBEビエンナーレ	ホームページやフェイスブック等 紹介展

チラシや刊行誌等による発信

- 情報誌「ときわタイムズ」や季節のキャンペーンチラシの充実
- 観光パンフレットやポスターのデザイン性の向上
- 彫刻や花などテーマ別マップの充実

インターネットによる発信

- ときわ公園公式ホームページの多言語化やリアルタイムでわかりやすい情報提供
- (仮)ときわ動物園だよりや(仮)ときわミュージアムだよりなど定期的な発行による広報の充実
- ソーシャル・ネットワーキング・サービス等を利用した即時的な情報発信による話題づくり
- ホームページとソーシャル・ネットワーキング・サービスとのリンクの検討

メディアによる発信

- テレビ・ラジオ・新聞・雑誌やフリーペーパー等の特集記事などへの積極的なパブリシティ活動及び効果的な広告掲載

宣伝隊による発信

- 音楽やダンス等でときわ公園のPR活動を行う専属パフォーマンスユニットの結成及び育成

その他の発信

- 空港・駅・バス・タクシー・宿泊施設等での案内機能を充実させるなど情報アクセスの向上
- 広域連携などによる他のイベントや施設等とのPRブース設置及び広報媒体への相互掲載
- 国内外でのUBEビエンナーレ等の紹介展の開催

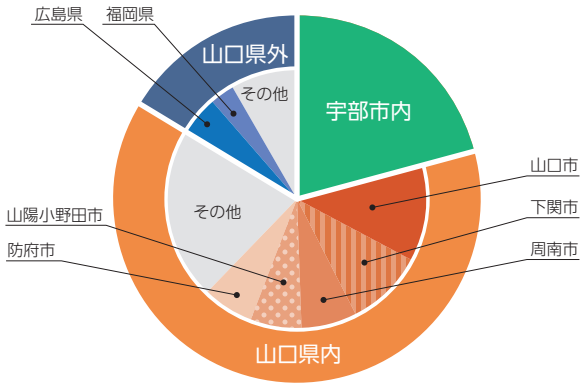
交通アクセス

主要道路からの誘導案内の強化

交通手段

［平成27年ゴールデンウィーク入園者アンケート結果より］

入園者の構成



［平成27年ゴールデンウィーク入園者アンケート結果より］

平成27年度の大型連休の入園者を対象に行ったアンケートでは、来園時の交通手段は車が圧倒的に多いという結果でした。

また、入園者構成は、市内21%、県内63%、県外16%で、県内では山口市、下関市の順に多く、県外では広島県、福岡県の順となっています。

このことから、県内はもとより近隣県からのマイカー利用者がよりスムーズに来園できるように、わかりやすい案内看板の設置など効果的な誘導を図ります。

- 高速道路のサービスエリアやパーキングエリア、インターチェンジなど県内外から公園まで主要道路の沿線や休憩施設等での案内標示の充実
- インターネットを活用した駐車場情報の提供
- 公園周辺の駐車場誘導看板の充実
- 駐車場等での警備員や誘導員の適正配置
- 駐車場の整備拡充

公共交通機関との連携

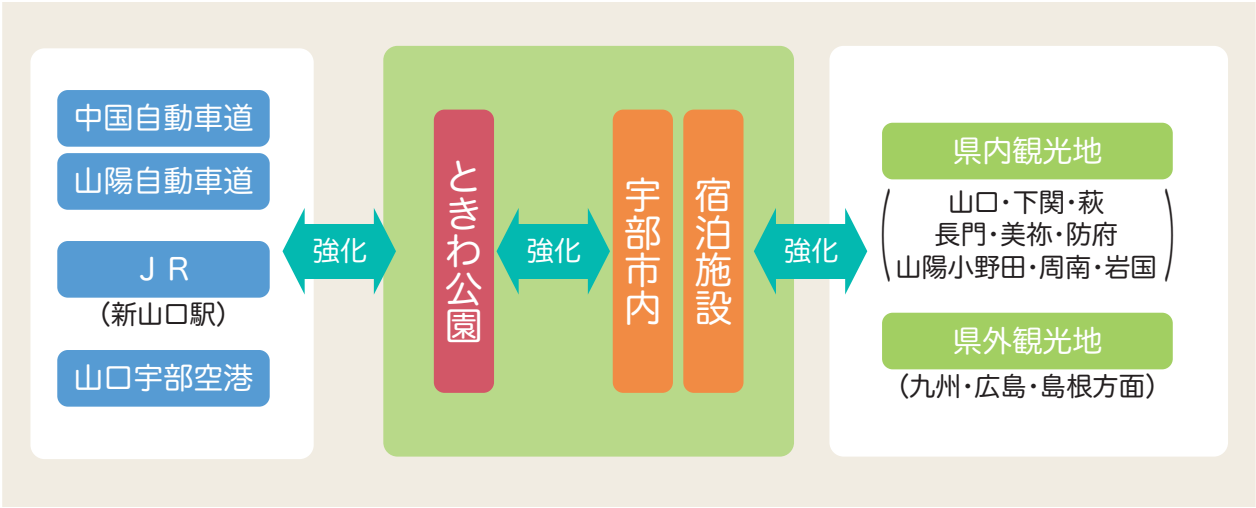
環境にやさしく、また渋滞の緩和にもつながる公共交通機関の利用を促進するため、アクセス強化を図ります。

◆中心市街地⇔ときわ公園のアクセス強化

- 「ときわ公園入口」バス停の利用促進のためのPR
- 「ときわ公園入口」バス停から正面入口までの歩道の装飾
- ときわ動物園入園券と公共交通乗車券とのセット商品の開発

◆JR主要駅、空港⇔ときわ公園のアクセス強化

- 山口宇部空港や新山口駅とときわ公園を直接結ぶ臨時シャトルバスの運行
- 園内インフォメーションセンターでのバス、タクシー、JRなどの案内サービスの充実
- JR主要駅、山口宇部空港での情報発信の強化



大型バス利用者の利便性の向上

インバウンドを含む観光客や社会見学などで利用する大型バスの駐車台数が近年増加しているため、利便性の向上を図ります。

- 大型バスの駐停車場の拡充

ときわ公園へのアクセス強化

観光戦略

ときわ公園の入園者増加の効果は、市内全体にも波及しており、まつり等のイベントや他の観光施設でも観光客が増加傾向にあります。

本市では、平成27年12月に策定した「宇部市観光戦略アクションプラン」において、ときわ公園は重要な観光資源と位置づけており、“ときわ公園を核とした観光戦略”に取り組んでいくことにしています。

また、山口宇部空港への利便性を活用しながら、ときわ公園への誘客強化を戦略的に図っていきます。

ときわ公園を核とした旅行商品の造成・販売

- ときわ公園を中心とした旅行商品造成を促進するための近隣県等の旅行事業者へのセールス活動
- ときわ公園と市内宿泊施設等とのタイアッププランの拡充

▲ときわ動物園宿泊プラン

広域観光連携による誘客

- 山口市との観光交流協定に基づく相互の観光施設での情報発信
- ときわ公園・下関市立しものせき水族館「海響館」・周南市徳山動物園・秋吉台サファリランド・やまぐちフラワーランドの県内５施設で、パスポートを活用した入園料の割引やスタンプラリーなど観光施設連携を行うとともに、共同したバスツアーや県内の観光施設を結んだ旅行商品の造成及び販売促進

▲パスポートを活用した入園料割引

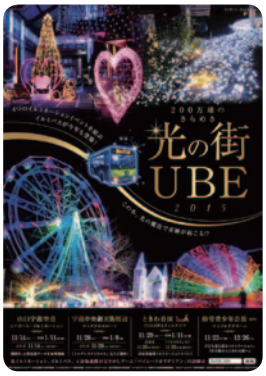
市内連携による観光客の回遊性の向上

「UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）」を核として、中心市街地で開催される「まちなかアート・フェスタ」と北部地域で開催される「うべの里アートフェスタ」、「宇部市芸術祭」をつなぎ、おいしい食の要素を加えたイベント『UBEビエンナーレ×まちじゅうアートフェスタ』を開催し、内容の充実を図ります。

また、『光の街UBE』として、TOKIWAファンタジアと市内のイルミネーションイベントとの連携も強化します。

- 定期周遊バス、シャトルバス等の運行によるイベント開催地を結ぶ交通体制の整備
- 旅行プランの造成、イベント回遊ツアーの企画の実施
- PR ブース設置及び広報媒体への相互掲載など他のイベントや文化施設等との連携強化

〈光の街 UBE〉



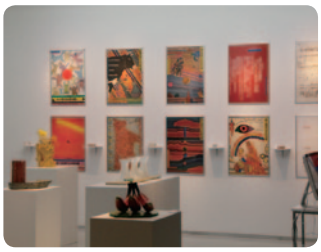
▲山口宇部空港
エアポート・イルミネーション

▲宇部中央銀天街周辺
サンタクロスロード

誘客プロモーションの推進

- ときわ動物園グランドオープンや熱帯植物館のリニューアルなど話題づくりのための情報発信
- UBE ビエンナーレなどの国内外に向けた情報発信の強化や紹介展の開催

首都圏プロモーション



▲UBEビエンナーレ@渋谷ヒカリエ

- PR ブース設置及び広報媒体への相互掲載など他のイベントや文化施設等との連携強化（再掲）
- スタディツアーなど誘客ツールの開発
- 県や関係機関等と連携したキャンペーンや情報発信

外国人観光客の誘致

- 国外でのUBEビエンナーレなどの紹介展の開催
- 海外旅行代理店へのプロモーション
- 在日外国人や留学生を対象としたモニターツアーの開催
- 近隣自治体と連携した広域観光周遊ルートや広域観光としての情報発信
- 多言語による音声ガイドや案内標示板の設置、パンフレットやガイドマップの充実など、環境整備による外国人観光客の回遊性の向上
- 公衆無線LAN（Wi-Fiスポット）の整備

▲UBE ビエンナーレ@カステジョン

東京オリンピック・パラリンピック（平成32年）の活用

- 地域活性化推進首長連合との連携による世界への情報発信
- ときわ公園を中心に市内観光施設をセットにした宿泊プランの造成とセールス活動

おもてなしの強化

入園者満足度とリピート率向上のためのおもてなしの強化を図ります。

- 障害者や高齢者など誰もが楽しめる公園づくり
- UBE ビエンナーレや宇部の彫刻に関するビジターセンターの開設
- 公衆無線 LAN（Wi-Fi スポット）の整備（再掲）
- わかりやすいサインや案内標示板の充実
- 各エリアのガイドツアーの充実やスマートフォンによる多言語音声ガイドの実施
- 障害者や高齢者等を支援するスタッフの育成
- スタッフの定期的な接遇研修の実施
- 駐車場等での警備員や誘導員の適正配置

観光産業

観光を産業として育成・振興させるためには、交流人口を増やすだけでなく、観光客の消費行動を喚起し、観光消費額を向上させる仕組みづくりが重要です。

採算性のあるツアーの開発や観光施設としての魅力を向上させるため、ときわ公園のオリジナル商品の開発に積極的に取り組み、食・お土産品の充実を図り、地域の産業従事者が観光に関わる仕組みづくりなどを行います。

また、観光消費拡大のため、滞在を促すことができる観光施設としての魅力を向上させるため、イルミネーションなど大規模な夜のイベントを開催するなど夜型観光スポットを創るとともに、動物園入園料をセットにしたオリジナル宿泊プランなど、ときわ公園と宿泊をセットにした旅行商品の開発・販売促進などに取り組み、人の流れを地域活性化につなげます。

第Ⅳ章 管理運営体制

ときわ公園を持続可能な公園にしていくために、経常収支のバランスを図りながら、経営の安定化に取り組むとともに、管理運営体制についても見直しを行います。

1 収　支

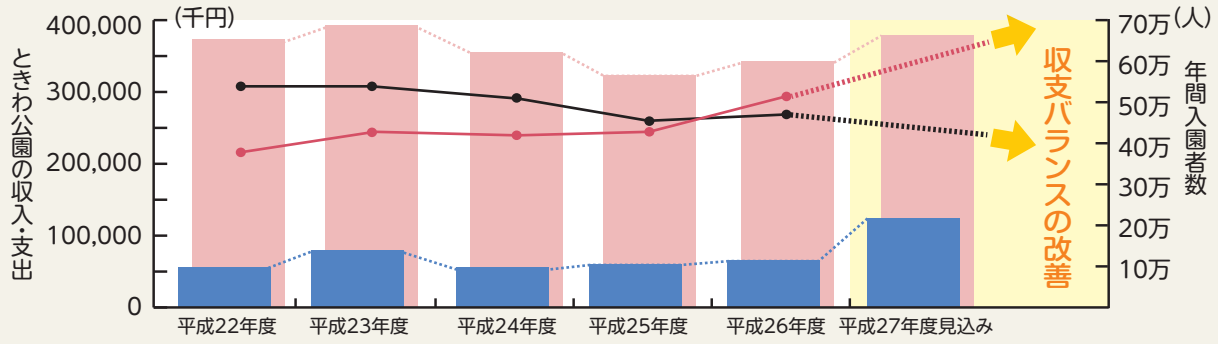
ときわ公園の収入は年々増加しており、その主な収入は、駐車場使用料、ときわ動物園入園料、公園占用料及びときわレストハウス、ときわ湖水ホール、ときわミュージアムなどの施設使用料となっています。

支出については、維持管理費、整備事業費、イベント経費で構成され、このうち維持管理費は、ときわ動物園、ときわミュージアム、周遊園路、その他園内施設の維持管理や保守点検等に要する経費です。

近年のときわ公園の収入と維持管理費（現場職員の人件費を含む。）の支出及びその収支状況と年間入園者数の推移は、以下のとおりです。

平成22年度～平成26年度にかけては年間入園者数が増加し、収支のバランスが改善されています。

ときわ公園の収支と年間入園者数の推移



ときわ公園では、ときわ動物園のグランドオープン、熱帯植物館のリニューアルに併せて、観光客誘致のため、宿泊プランなどの旅行商品の開発や民間プロデュースによる充実したイベントなどを開催し、情報発信を強化することで、若者や子育て世代、また広域からの集客に取り組み、入園者数の増加を図りながら、財源確保のための収入増に努めます。

また、支出については、各施設等の管理運営体制を見直しながら、コスト削減に積極的に取り組むことで、収支バランスの改善を図り、経営の安定化を目指します。

2 管理運営体制

現在の管理運営体制に加え、新たに民間や専門家等と連携することにより、施設等の魅力を高めるとともに、効率化とコスト削減に取り組みます。

■ 各施設等の管理運営体制の方向性

施設等の名称	現在の運営体制	取組の方向性	今後の検討すべき運営パートナー
ときわ動物園（体験学習館"モンスタ"を含む）	（公財）宇部市常盤動物園協会［委託］	収支バランスを図りながら、動物園の経営を安定させ、動物園協会を運営管理者とする指定管理を目指す。体験学習館"モンスタ"では、動物と自然環境について学ぶプログラムを実施する。	専門家・専門機関
ときわ遊園地	民間事業者	動物園と一体感のある遊園地にリニューアルし、全体のグレードアップを図り、民間活力の導入により、園内全体に波及効果が高い集客イベントを開催する。	民間事業者
ときわミュージアム	市	市による自主企画や民間団体等による企画展の開催など魅力を高め、内容の充実を図る。熱帯植物館リニューアル整備に併せ、有料化を検討し、公民連携を図りながら安定した運営を行う。	専門家・専門機関 民間事業者 ボランティア等
石炭記念館	市 ボランティア	耐震化も含めたリニューアル整備を検討し、観光施設として、また博物館としての機能を充実させるため、関係機関等と連携を強化する。リニューアル整備後の管理運営については、公民連携を検討する。	専門家・専門機関 民間事業者 ボランティア等
周遊園路 花壇 緑地等 スポーツ広場 園内施設全般	市 障害福祉サービス事業所 シルバー人材センター ボランティア （公財）宇部市体育協会	市直営業務の見直しにより、業務の効率化を図るとともに、障害福祉サービス事業所やシルバー人材センターの活用、ボランティアによる管理運営を促進する。	社会福祉法人 民間事業者 ボランティア等
園内店舗	民間事業者	動物園やミュージアムのオリジナル商品や食のメニューの開発など連携を強化する。大型連休やイベント時など入園者が集中する時期の仕組みをつくる。	民間事業者
駐車場及び受付業務	（公財）宇部市常盤動物園協会［委託］	渋滞時の駐車場案内及び警備にかかる適性な人員配置と効率的な運営を徹底するとともに、動物園と併せて、指定管理を検討する。	民間事業者
開催イベント	市 民間事業者	市直営のイベントについては集中と選択を行い、目玉となるイベントのグレードアップを図るとともに、民間によるイベント開催の積極的な誘致及び移行などによりにぎわいの創出を図る。	民間事業者 市民活動団体等
宇部市ときわ公園障害福祉サービス事業所	社会福祉法人［指定管理］	園内の花づくりや草刈り等公園の維持管理に加えて、平成28年4月から定員を20名から25名に増員し、動物園などの維持管理業務を拡大する。	社会福祉法人 民間事業者

3 ボランティア・企業・団体等

花づくりや園内ガイドなどときわ公園の運営や維持管理は、多くのボランティアによって支えられています。市民がボランティアに参加しやすく、モチベーションの向上が図られるよう、環境整備に努めます。

また、企業や団体等による奉仕活動及びCSR活動も積極的に行われており、今後リニューアルされる動物園や熱帯植物館、古民家「憩いの家」など活動の場の拡充に取り組みます。

4 ときわ公園サポーター制度

個人や企業・団体等と積極的に連携する制度です。

種　類	支援の内容
プレミアムサポーター	ときわ公園運営経費への支援
ボランティアサポーター	清掃・除草・植栽・イベント補助など作業活動での支援

広報活動を強化し、サポーター特典をより充実させるなど制度の拡充を図ります。

- 市の広報やソーシャル・ネットワーキング・サービスなどの活用による広報活動の強化
- 動物園入園券進呈などサポーター特典の充実
- サポーターへのときわ公園の花木・イベント情報等の定期的な提供

用語解説

アーカイブ	将来に残すために保存された記録物や文集類、それらの保管施設、設備などのこと。
アーティスト インレジデンス	国内外の芸術家をひとつの地域に一定期間滞在させて、創作活動をさせる制度や事業のこと。 芸術家たちは滞在期間中、創作の過程を公開したり、地域の人々と交流しながら、作品を制作する。
アミューズメント	娯楽
インバウンド	訪日外国人客
宇部市ときわ公園障害福祉サービス事業所	ときわ公園では、昭和37年から全国に先駆けて知的障害者が訓練生として、花づくりや草刈り等公園の維持管理を行ってきたが、障害者雇用促進法の改正、障害者自立支援法の施行により、訓練から雇用に発展させるため、平成25年10月に国内初の「宇部市ときわ公園障害福祉サービス事業所」を開設し、公設民営で運営を開始した。
エコパーク	自然とふれあいながら、環境保全や資源循環などについて学べる公園。
キャプション	印刷物等による写真や挿絵を添えた説明文。ネーム。
共創	企業が提供する商品やサービスなどを、生活者（顧客）と“共に創る”仕組みを指す。
公衆無線LAN（Wi-Fiスポット）	無線情報ネットワークを利用したインターネットへの接続を提供するサービスのこと。そのアクセスポイントから受信できる場所を、Wi-Fiスポットなどと呼ぶ。
次世代エネルギーパーク	再生可能エネルギーをはじめとした次世代のエネルギーに、実際に国民が見て触れる機会を増やすことを通じて、地球環境と調和した将来のエネルギーの在り方に関する理解の増進を図る計画を、経済産業省が認定するもの。
指定管理	公の施設の管理運営権限を当該指定を受けた者に委任するもの。自治体は、設置者としての責任を果たす立場から指定管理者を監督する。
スタディツアー	体験学習や現地視察、現地の人々との相互理解などの学習を目的とした旅行のこと。

スポーツツーリズム	スポーツイベントの参加者などと開催地周辺の観光と融合させ、交流人口の拡大や地域経済への波及効果などを目指す。
ソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS)	職業や趣味など個人間のつながりを促進し、社会的なネットワークの構築を支援するフェイスブックやツイッターなどインターネットを利用したサービス。
体験学習館“モンスタ”	動物や環境について、体感・実感する体験を通して楽しみながら学ぶことができる施設。動物園と遊園地の中心に立地する。
テーマパーク	特定のテーマをベースに全体が演出された観光施設。明確なテーマを掲げて遊具や施設、個々のお土産品に至るまで、一貫性を持たせた行楽施設群のこと。
デジタルアート	コンピュータを使って、デジタル形式で芸術作品を作ること。
花いっぱい運動記念ガーデン	花いっぱい運動から始まった花壇コンクールの100回を記念して整備されたガーデンのこと。「花いっぱい運動」を始めた先人、半世紀にわたって花づくり・まちづくりに参加された多くに市民に感謝するとともに、今後のさらなる花いっぱい運動の展開を目指すシンボルである。
パブリシティ	企業・団体・官庁などが、その製品・事業などに関する情報を積極的にマスコミに提供し、マスメディアを通して報道として伝達されるよう働きかける広報活動。
バリアフリー	高齢者や障害者等が社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものを除去（フリー）すること。物理的、社会的、制度的、心理的な障壁、情報面での障壁などすべての障壁を除去するという考え方。
ビオトープ池	ビオトープとは、生物群集の生活空間を示す言葉。日本語では、生物空間、生物生息空間とされる。ビオトープ池とは、生物が住みやすいように環境改変された池のこと。
ビジターセンター	国立公園や国定公園などにおいて、その自然（地形・地質・動植物）などの情報を展示・解説し、公園の利用案内を行っている施設のこと。
フェイスブック	インターネット上で人と人とを双方向つなぐ世界最大の交流インターネットサービス。
プロモーション	受け手が、製品やサービスに対する意識、関心を高める活動のこと。
ヘルスケア産業	医療や介護または健康に関連するものやサービスを提供する製造業やサービス業など大きな領域にまたがる産業。
ユニット	何らかの活動のために作られる集団のこと。音楽業界用語でグループのこと。

CSR	企業の社会的責任。Corporate Social Responsibilityの略で、企業が利益を追求するだけでなく、組織活動が社会へ与える影響に責任をもち、あらゆる利害関係者（消費者、投資家等及び社会全体）からの要求に対して適切な意思決定をすることを指す。
ICT	Information and Communication Technologyの略で、情報通信技術のこと。
PPP	Public-Private Partnershipの略で、「民間にできることは民間に委ねる」という方針により、民間事業者の資金やノウハウを活用して社会資本を整備し、公共サービスの充実を進めていく手法のこと。

ときわ公園
TOKIWA PARK